

第8回県政インターネットモニターアンケート集計結果

駿河湾フェリーの利用状況等に関するアンケート 献血に関する意識、広報についてのアンケート 救急医療に関するアンケート

※グラフの中の「n」は、各設問の回答者総数を示す。

※各回答項目の割合(%)は、端数処理の関係上(小数第二位を四捨五入)、
合計が100%にならない場合がある。

○駿河湾フェリーの利用状況等に関するアンケート

海上から世界に誇る富士山と伊豆半島ジオパークの迫力ある海岸、山並みを見渡すこと
ができる「駿河湾フェリー」をより多くの方に利用していただくため、今後の施策の参考とさ
せていただきたく、アンケートへの御協力をお願いします。

○献血に関する意識、広報についてのアンケート

少子高齢社会の進展に伴い、輸血用血液を必要とする高齢者が増加する一方、10歳代～
40歳代の献血者が大きく減少しており、献血者の恒常的な確保が重要な課題となってい
ます。

そこで、各世代における県民の献血意識を把握し、今後の献血推進活動の参考とするた
め、アンケートを実施します。

○救急医療に関するアンケート

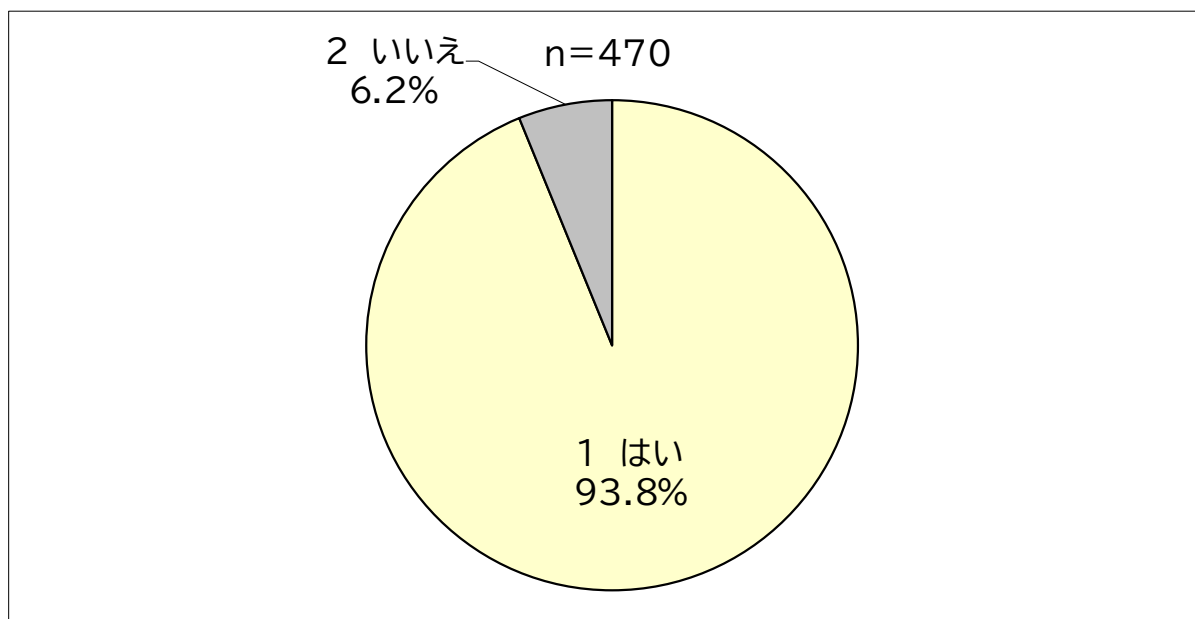
現在、高齢化の進行等により救急搬送件数が増加傾向にあり、救急隊や救急医療機関
の負担が増大しています。県民の皆様が24時間安心して必要な救急医療を受けることが
できる体制を守るため、県民の皆様にも、このような医療の現状を御理解いただき、適切な
受診を心がけていただくことが必要となっています。

そこで、県民の皆様から率直な御意見をお伺いし、今後の施策の参考とさせていただき
たいと考えておりますので、御協力をお願いいたします。

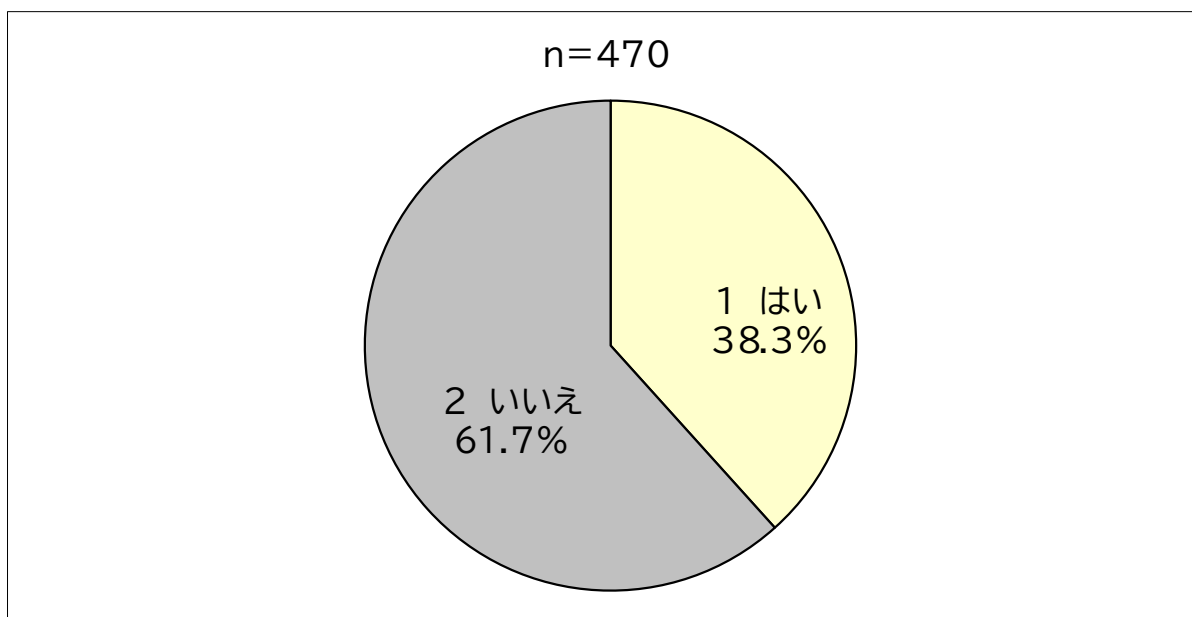
回答者数：470人（回答率：84.2%）			
	カテゴリー名	回答者数	%
性別	男性	197	41.9%
	女性	270	57.4%
	その他	3	0.6%
年代	10代	6	1.3%
	20代	33	7.0%
	30代	48	10.2%
	40代	83	17.7%
	50代	123	26.2%
	60代	97	20.6%
	70代	61	13.0%
	80代	19	4.0%
	90代	0	0.0%
住所	賀茂	4	0.9%
	東部	151	32.1%
	中部	161	34.3%
	西部	153	32.6%
	県外	1	0.2%
職業	自営業	38	8.1%
	会社員	144	30.6%
	公務員	19	4.0%
	パート・内職従事者	86	18.3%
	学生	32	6.8%
	無職	127	27.0%
	その他	24	5.1%

○ 駿河湾フェリーの利用状況等に関するアンケート

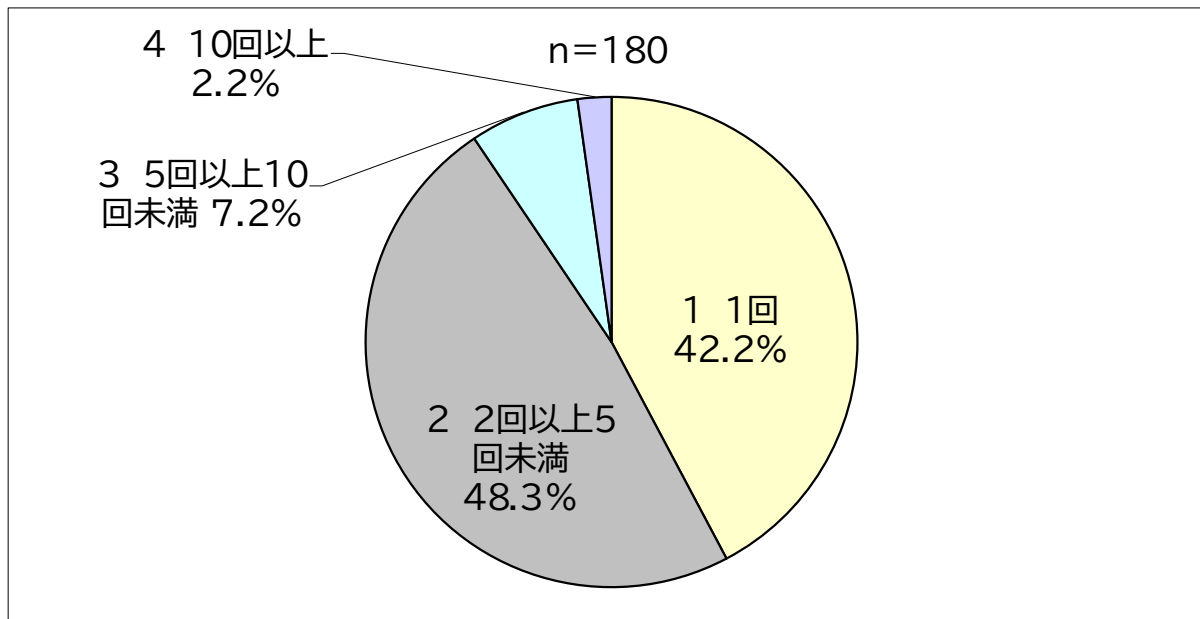
問1 あなたは、清水港と土肥港の間を運航する駿河湾フェリーを知っていますか。(回答数は1つ)



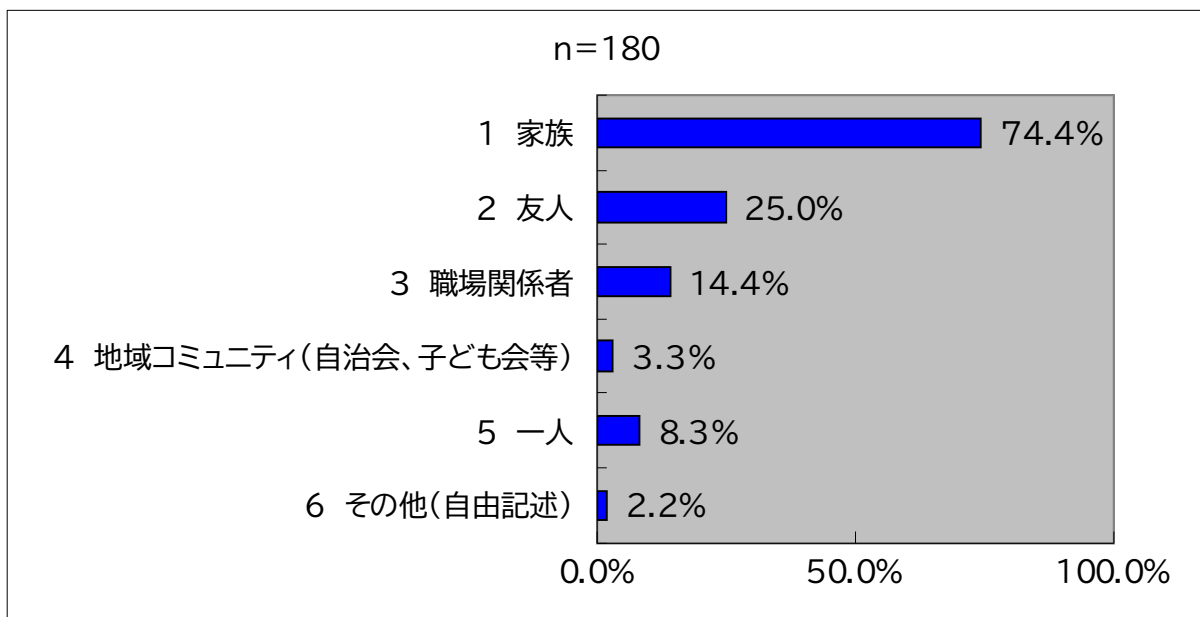
問2 あなたは、これまで駿河湾フェリーを利用したことが、ありますか。(回答数は1つ)



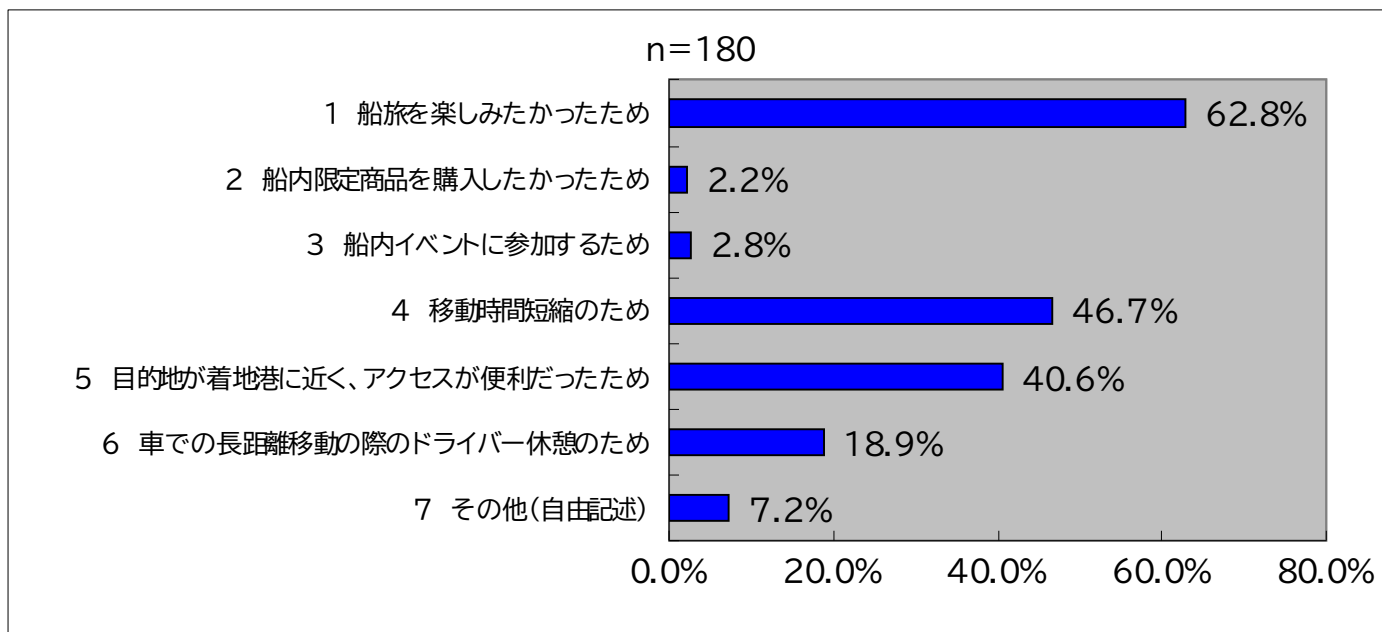
問2-2 問2で選択肢1を選択された方に伺います。これまで、どのくらい駿河湾フェリーを利用されましたか。(回答数は1つ)



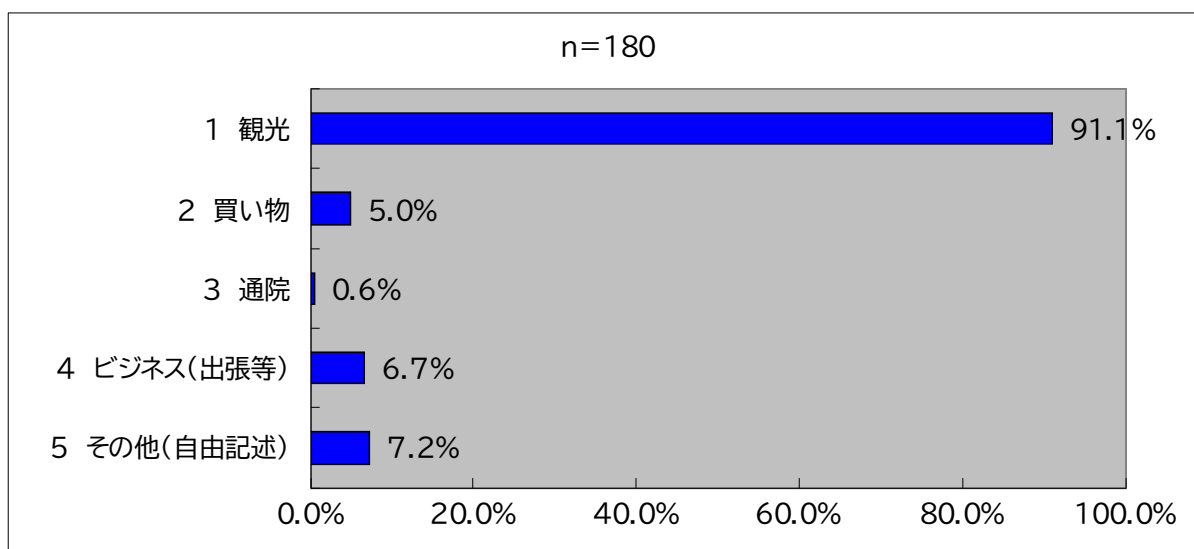
問2-3 問2で選択肢1を選択された方に伺います。誰と駿河湾フェリーを利用されましたか。(複数回答可)



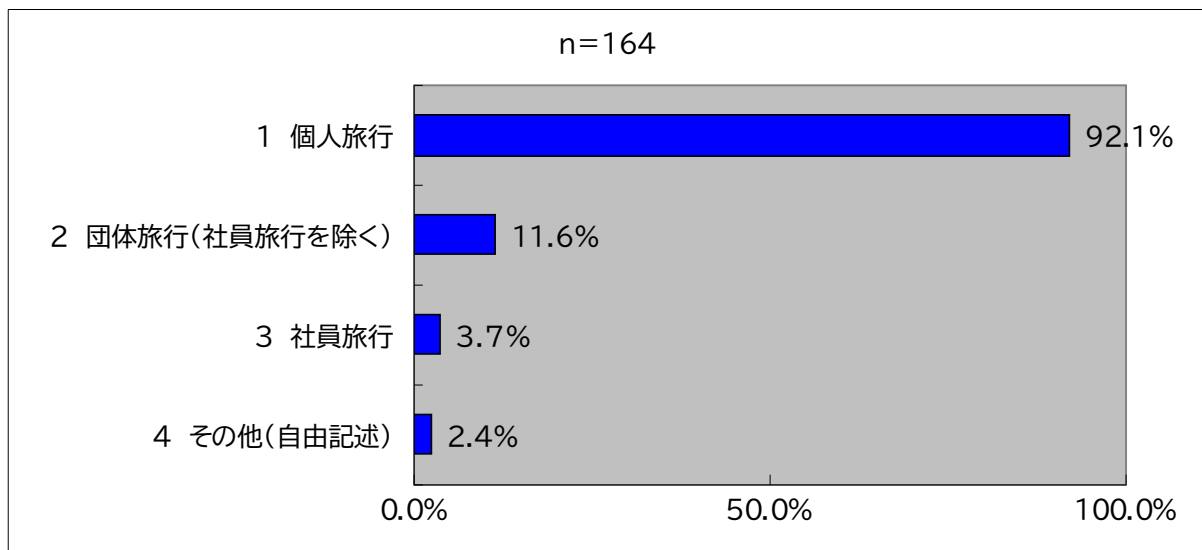
問2-4 問2で選択肢1を選択された方に伺います。移動手段として駿河湾フェリーを選んだ理由は何ですか。(複数回答可)



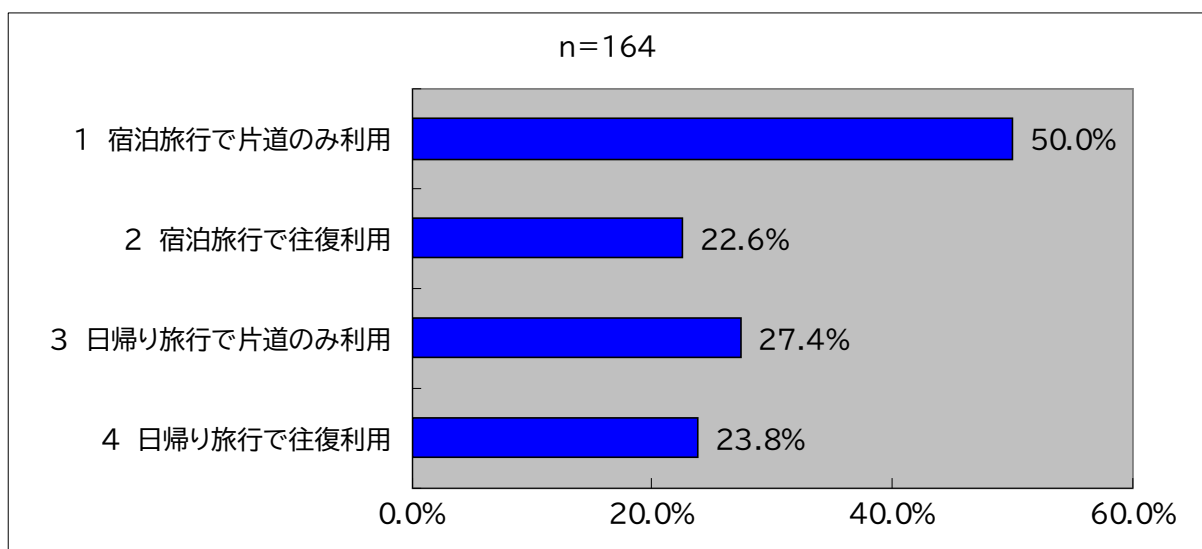
問2-5 問2で選択肢1を選択された方に伺います。どのような目的で駿河湾フェリーを利用されましたか。あてはまるものを全て選択してください。(複数回答可)



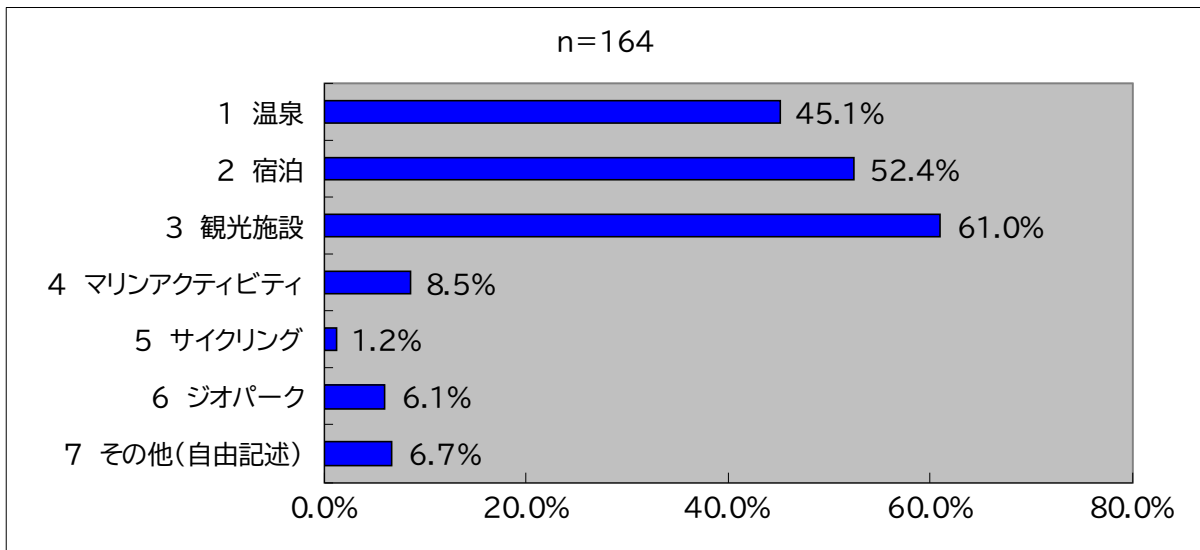
問2-5-2 問2-5で選択肢1を選択された方に伺います。どのような旅行形態で「駿河湾フェリー」を利用されましたか。(複数回答可)



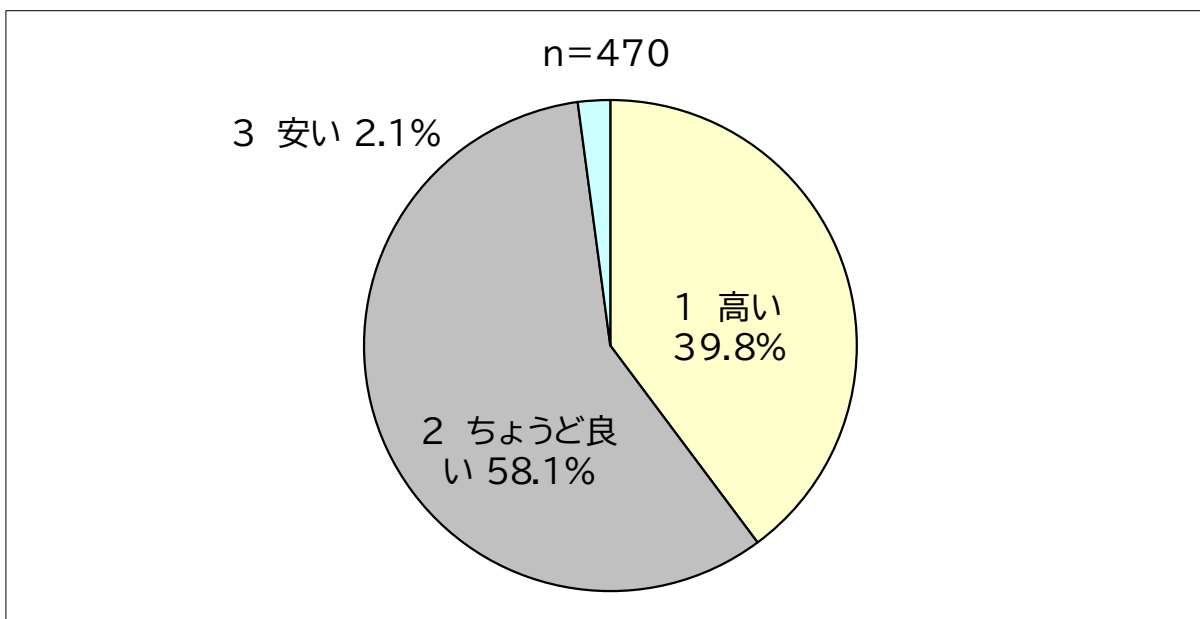
問2-5-3 問2-5で選択肢1を選択された方に伺います。どのような旅程で駿河湾フェリーを利用されましたか。(複数回答可)



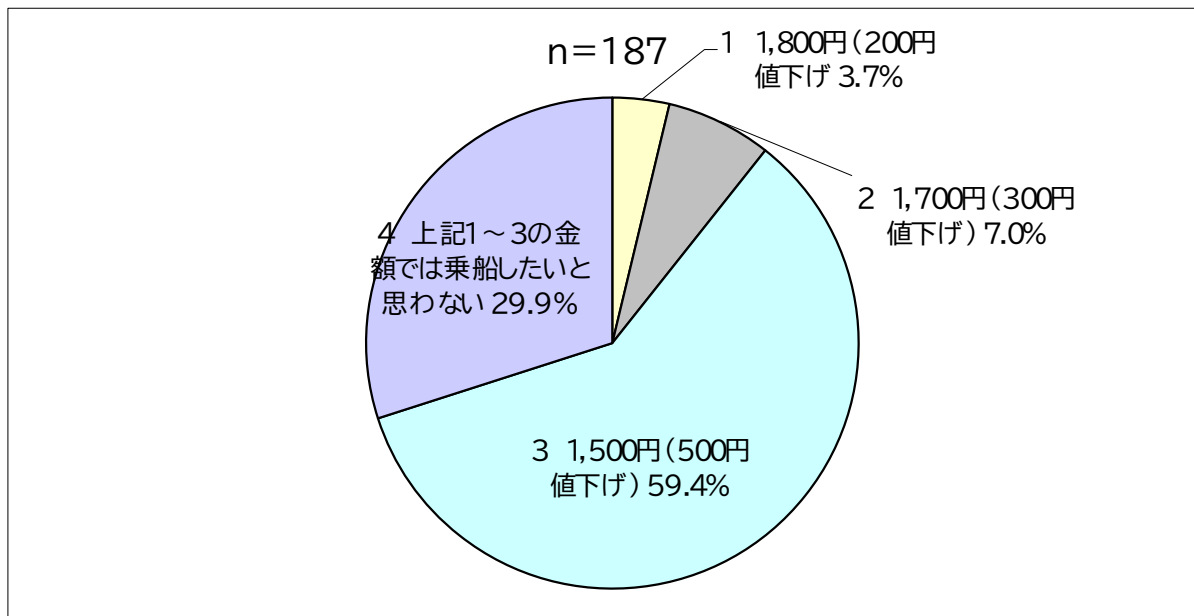
問2-5-4 問2-5で選択肢1を選択された方に伺います。どのような観光目的で駿河湾フェリーを利用されましたか。(複数回答可)



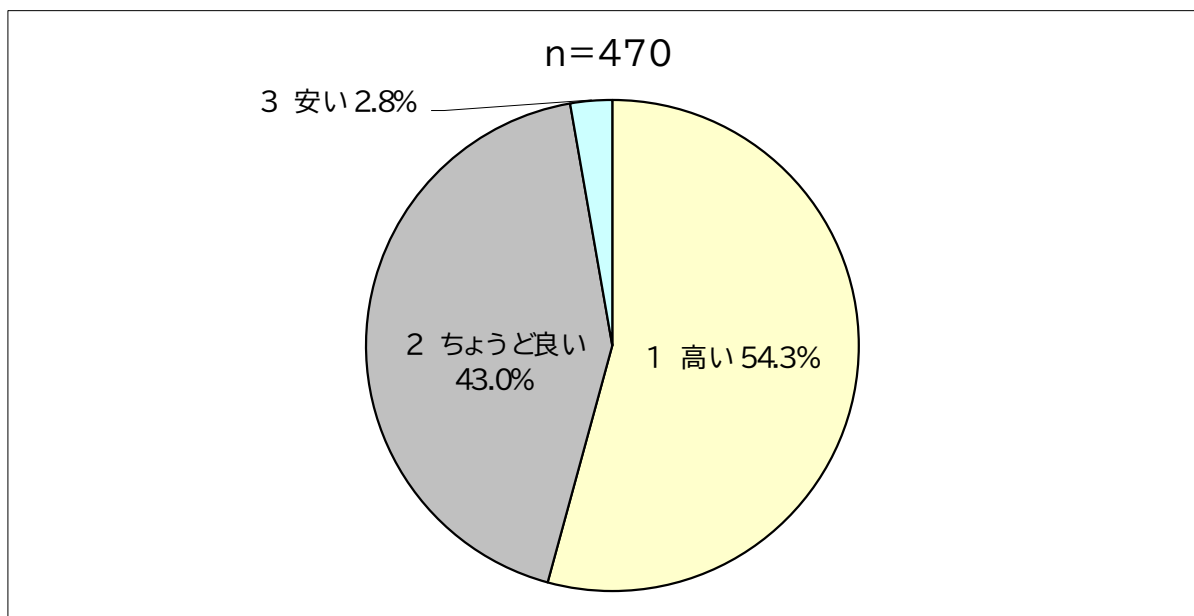
問3 駿河湾フェリーの乗船料金について伺います。現在の大人1名片道の乗船料金[1人 2,000円]について、どのように思いますか。(回答数は1つ)



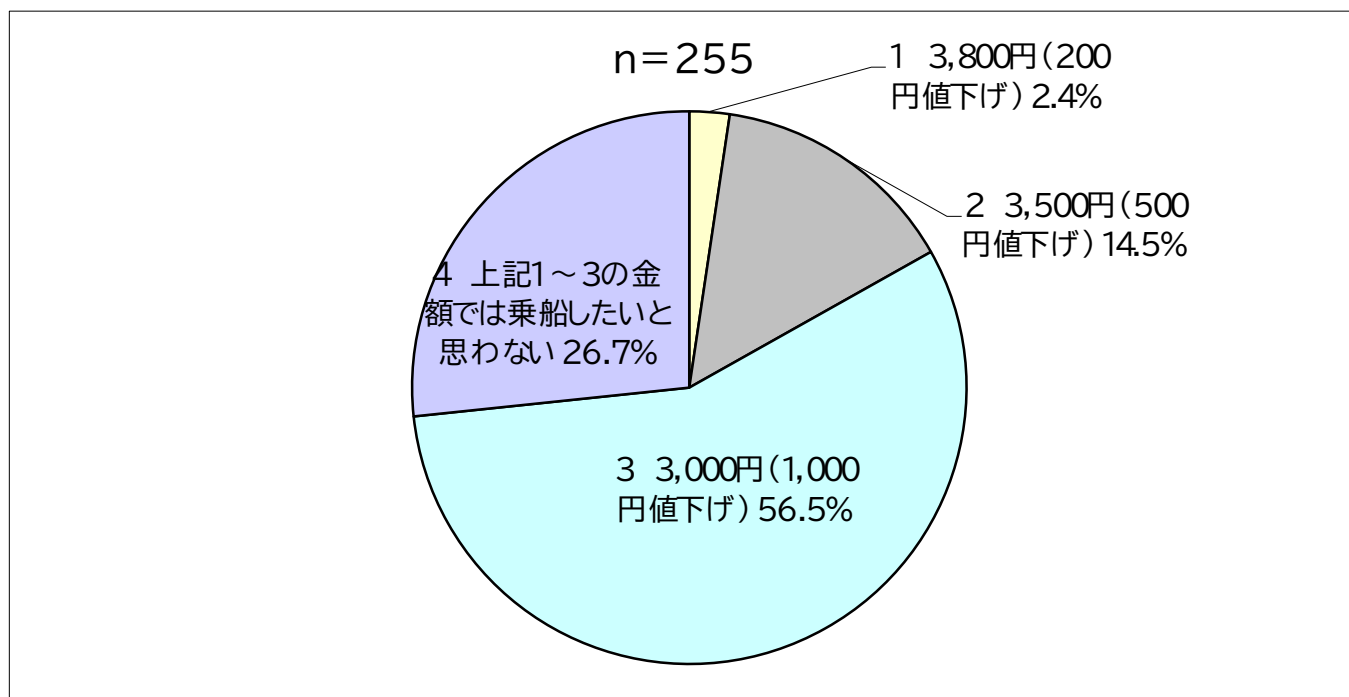
問3-2 問3で選択肢1を選択された方に伺います。乗船する場合に、いくらまでなら支払っても良いと思いますか。次の金額から選択してください。(回答数は1つ)



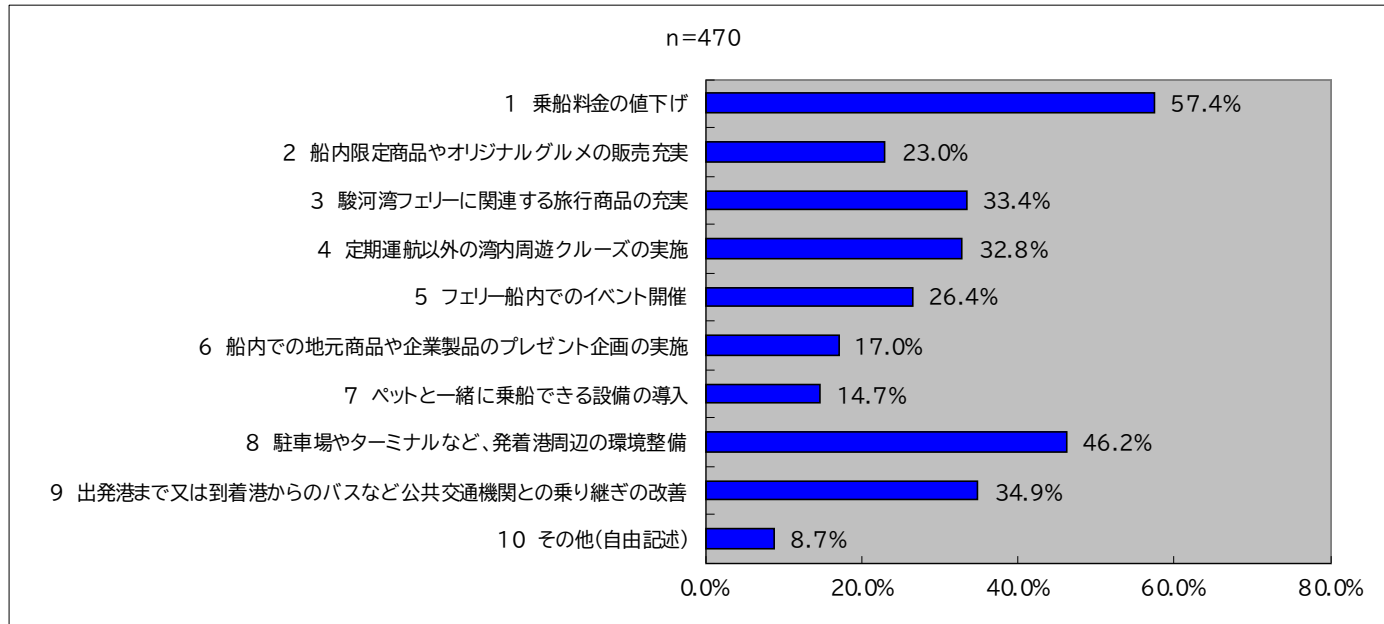
問4 駿河湾フェリーの乗船料金について伺います。現在の普通乗用車1台片道の乗船料金(運転手1名の乗船料金も含む)[1台 4,000円]について、どのように思いますか。(回答数は1つ)



問4-2 問4で選択肢1を選択された方に伺います。乗船する場合に、いくらまでなら支払っても良いと思いますか。次の金額から選択してください。(回答数は1つ)



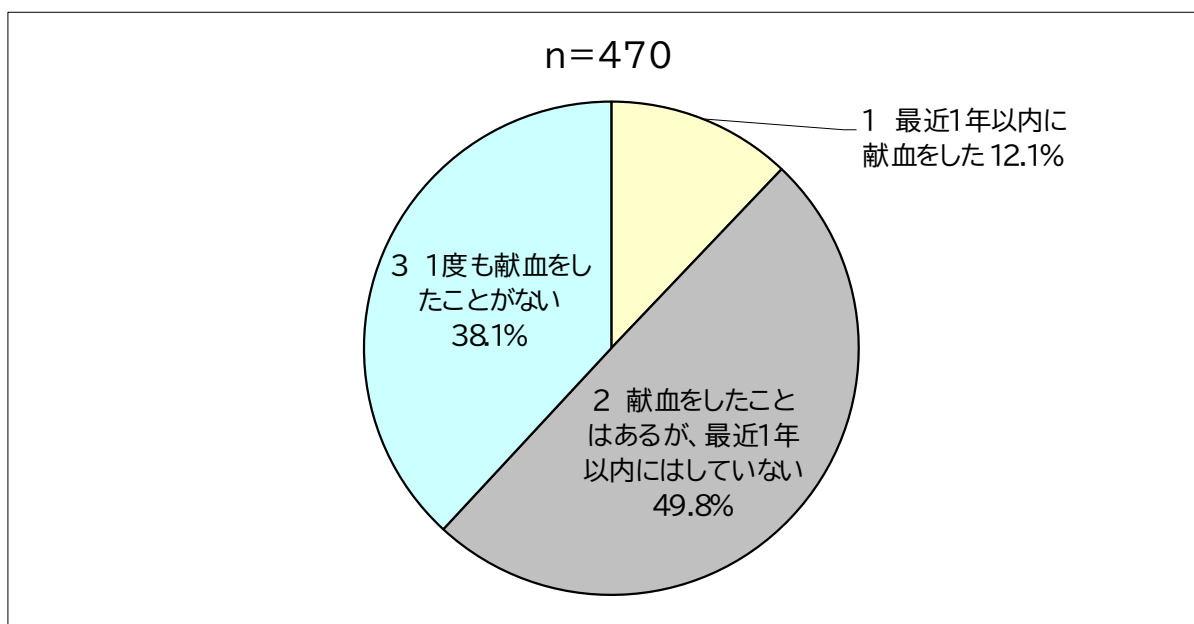
問5 駿河湾フェリーの利用を増やすために、どのような取組が有効だと思いますか。(複数回答可)



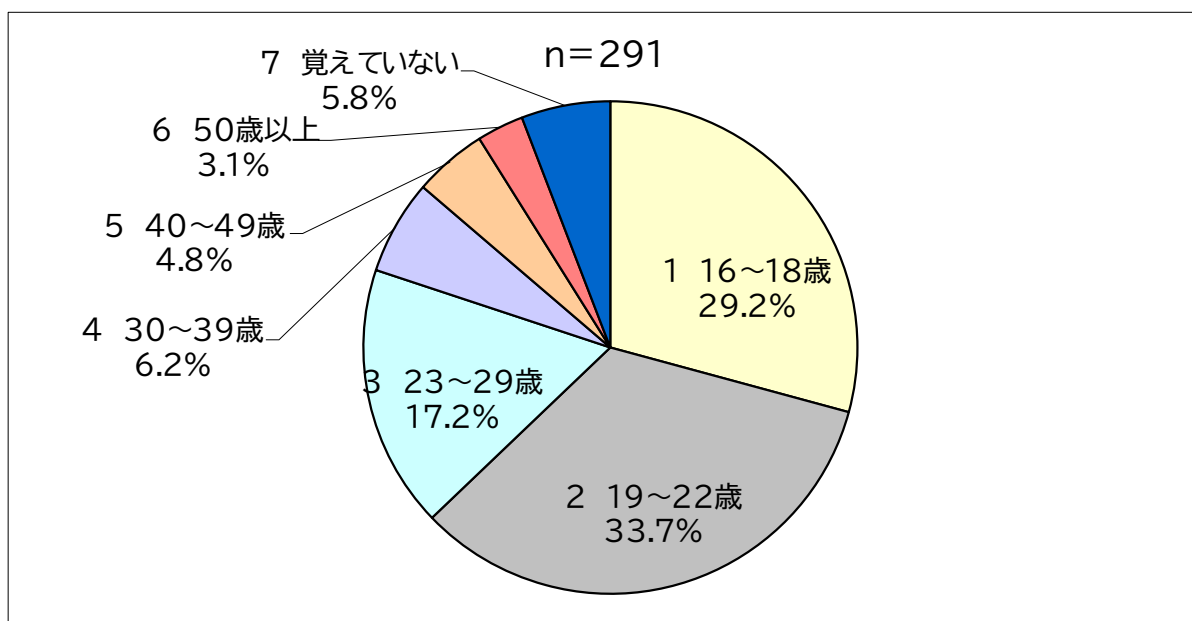
担当課 スポーツ・文化観光部観光交流局観光振興課
 電話 054-221-3684
 FAX 054-221-3627
 メール kankou3@pref.shizuoka.lg.jp

○献血に関する意識、広報についてのアンケート

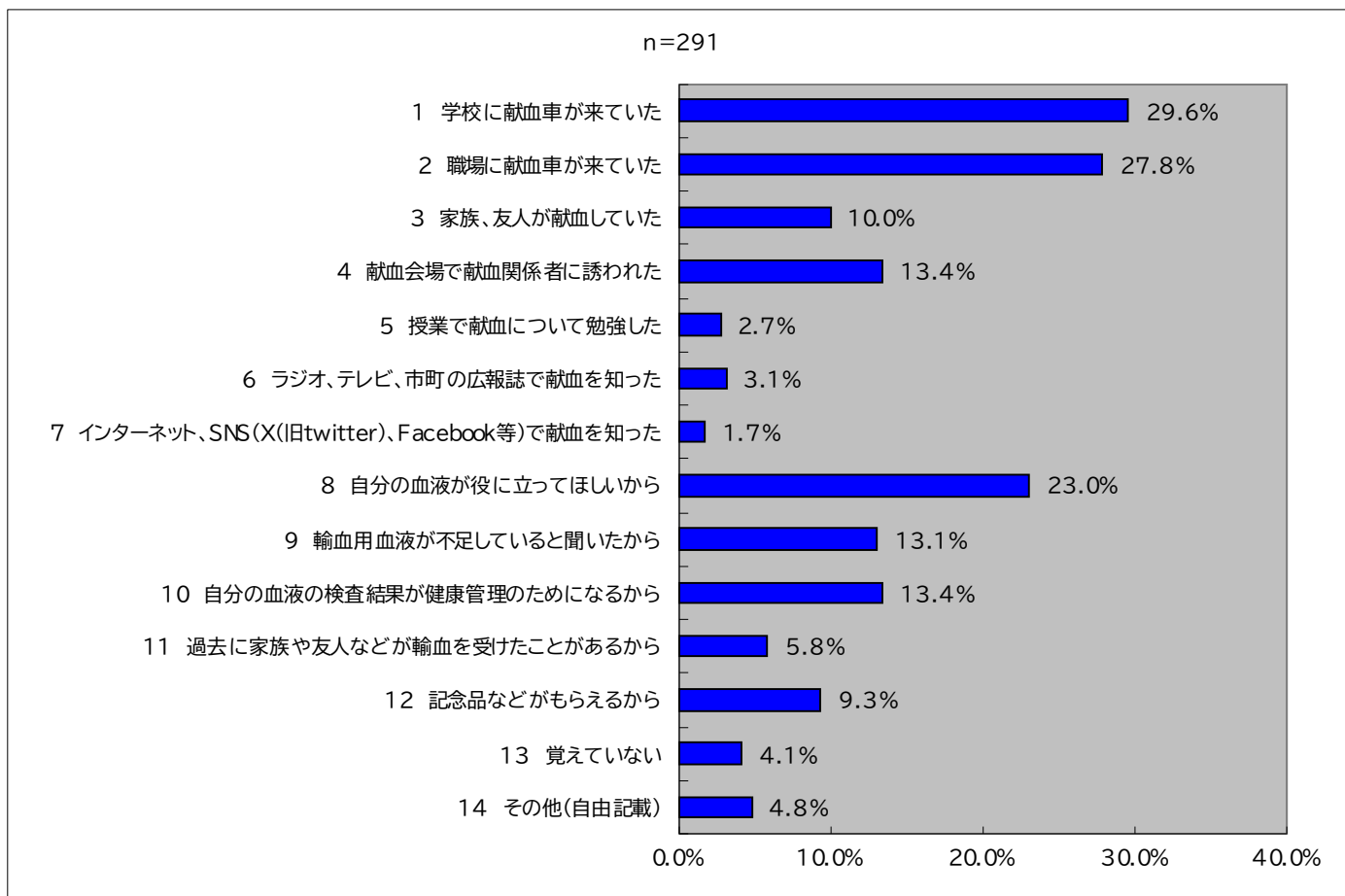
問1 あなたは、献血をしたことがありますか。(回答数は1つ)



問1-2 問1で選択肢1または2を選択された方に伺います。初めて献血をしたのは何歳の時ですか。(回答数は1つ)



問1-3 問1で選択肢1または2を選択された方に伺います。初めて献血をしたきっかけは何ですか。(複数回答可)



問1-4

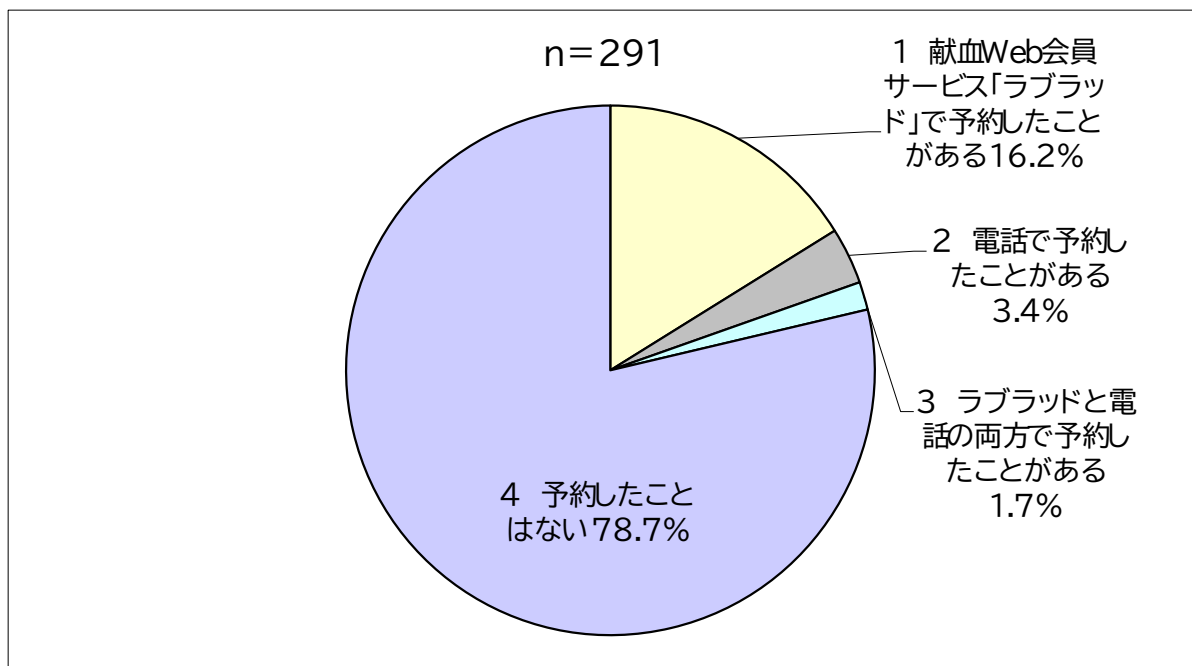
問1で選択肢1又は2を選択された方に伺います。全国の献血ルーム及び一部の献血車では献血予約が可能です。予約をしたことがありますか。(回答数は1つ)

※献血ルーム

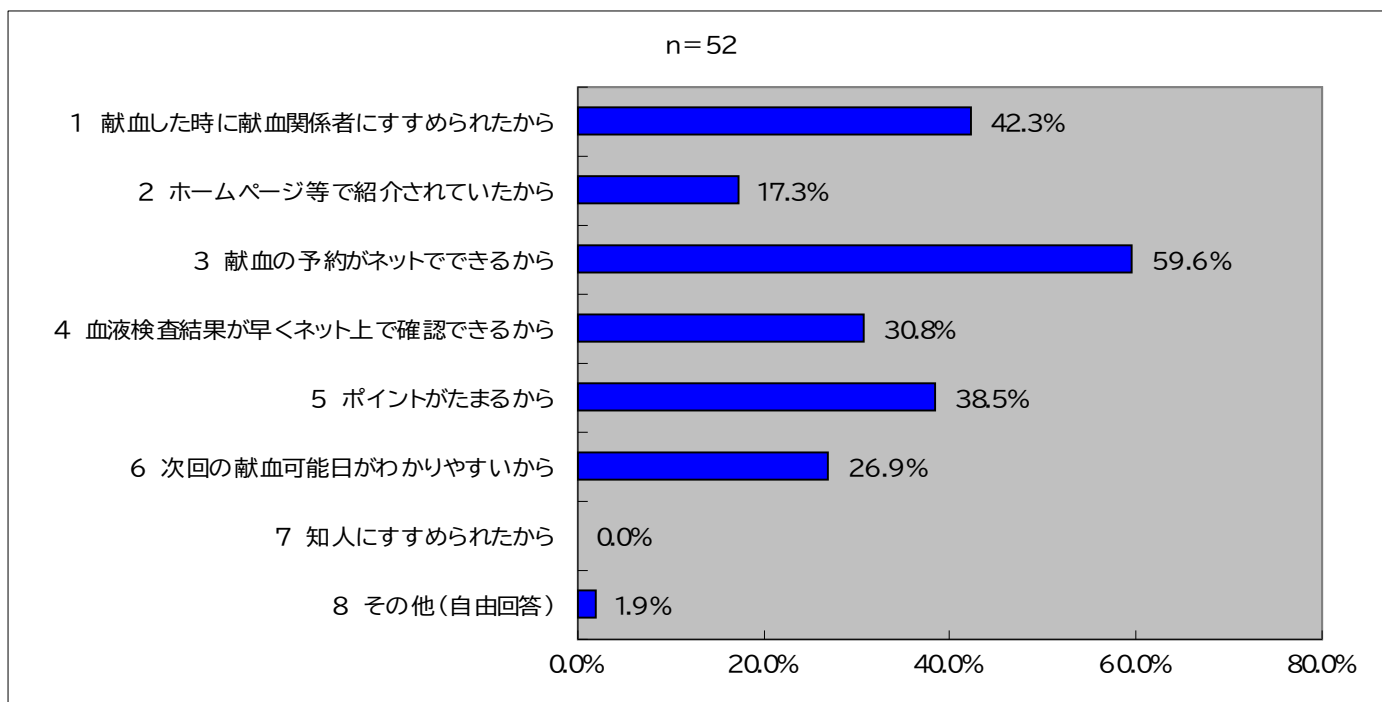
主に、駅前や商店街など、都市部を中心に交通の便がよい場所にある献血を受け付ける固定施設。県内では、静岡市、浜松市、清水町の3か所に設置。献血車は、献血ルームが近隣にない地域に出張し献血を受け付ける。

※ラブラッド

一年を通じて安全な血液を安定的に確保することを目的として、日本赤十字社及び都道府県赤十字血液センターが運営する会員サイト。令和4年9月より、スマートフォン用アプリも運用開始。献血の予約がネット上でできるほか、血液検査結果を献血後2～5日程度で確認できる、キャンペーン情報や次回献血可能日などのお知らせが届く、予約や献血への協力でためたポイントを記念品と交換できる。



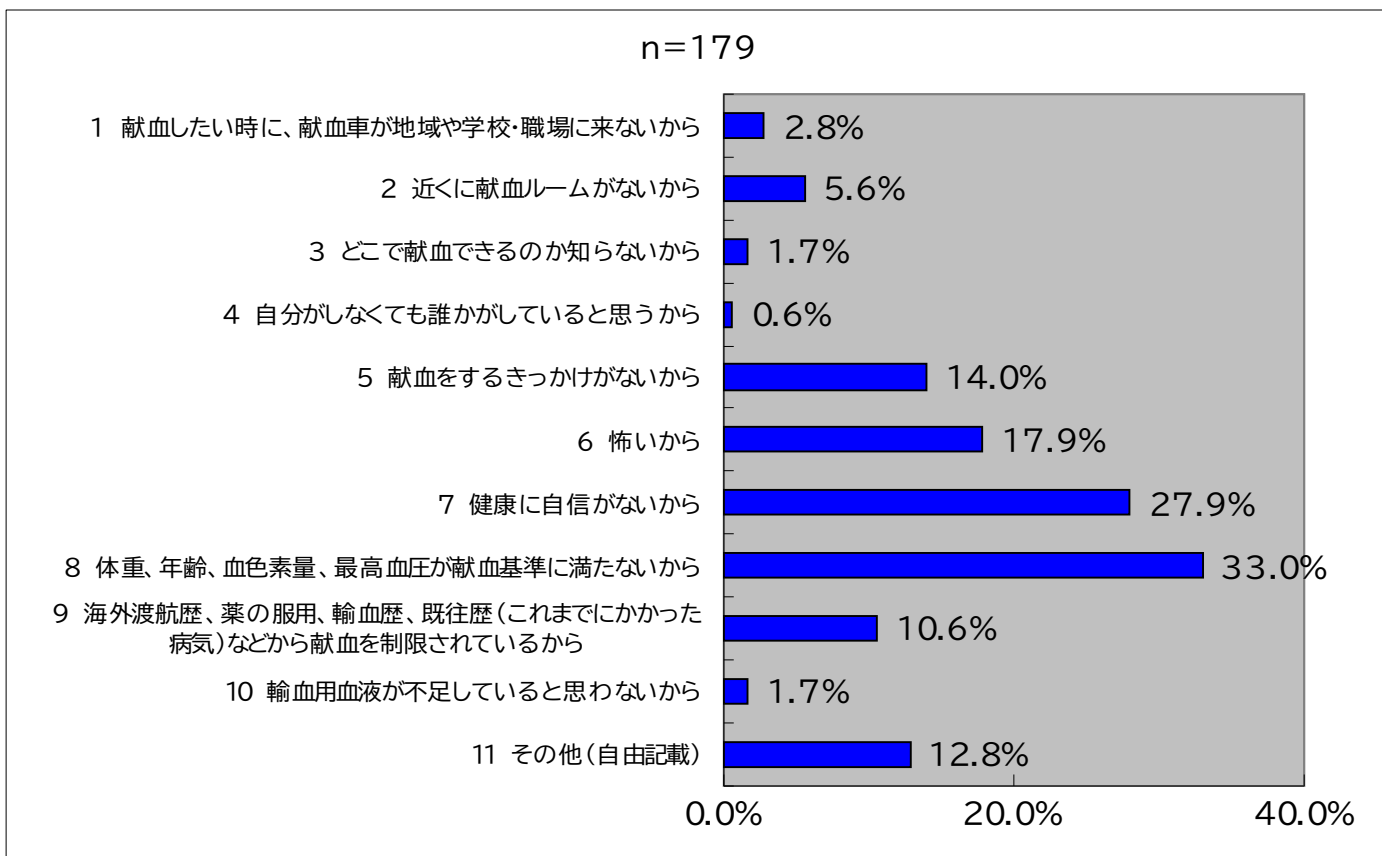
問1-4-2 問1-4で選択肢1又は3を選択された方に伺います。ラブラッドに登録したきっかけは何ですか。(複数回答可)



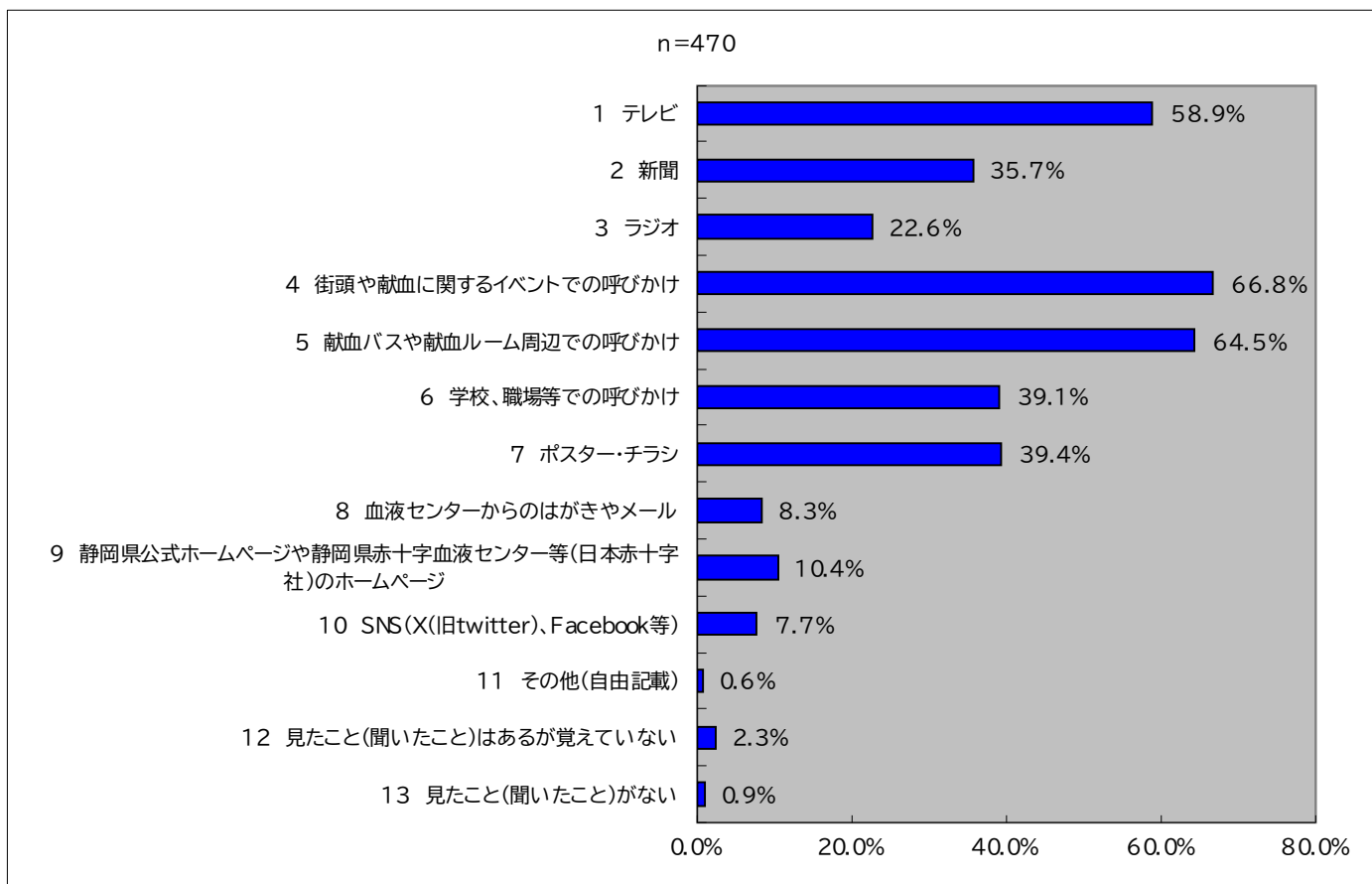
問1-5 問1で選択肢3を選択された方に伺います。献血をしない理由は何ですか。(複数回答可)

※献血ルーム

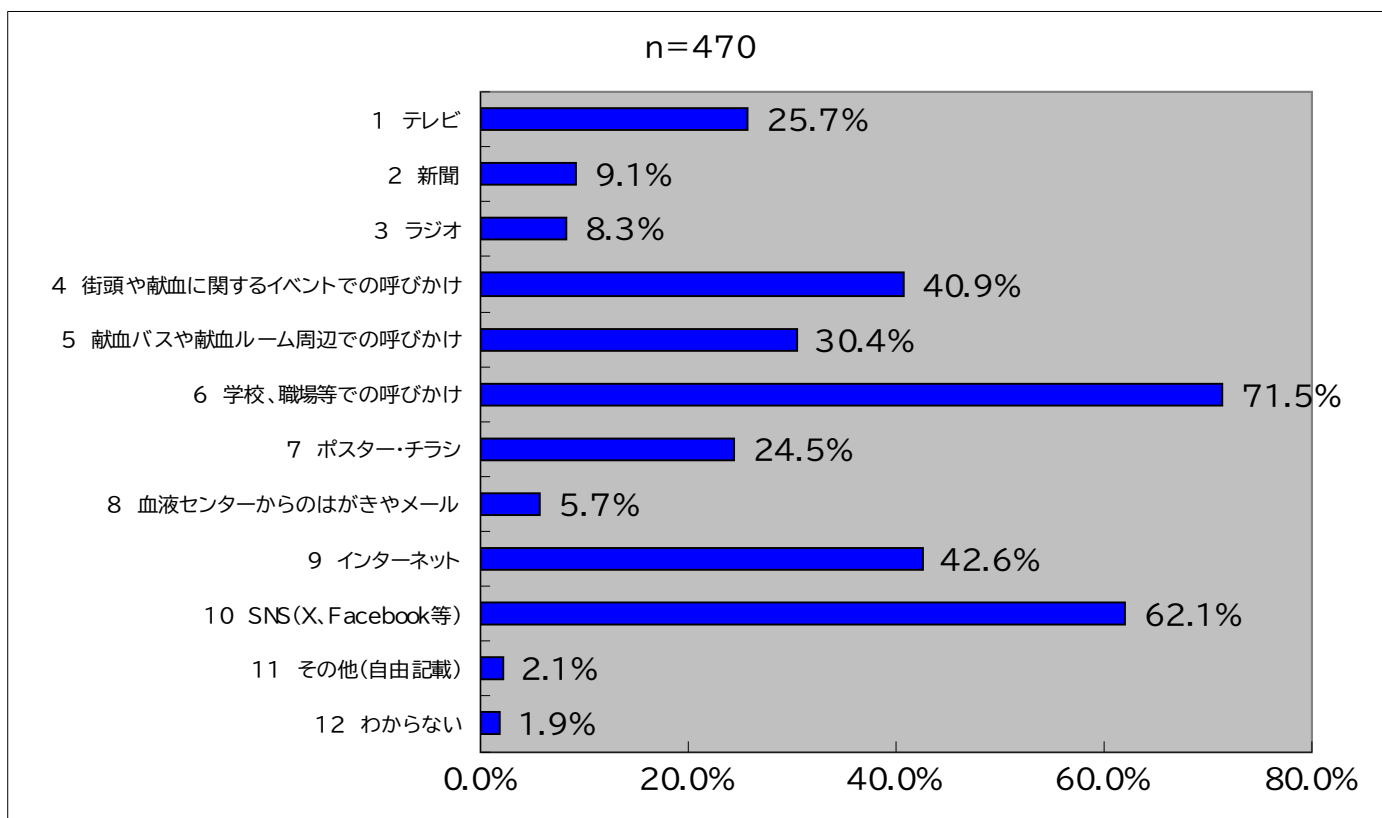
主に、駅前や商店街など、都市部を中心に交通の便がよい場所にある献血を受け付ける固定施設。県内では、静岡市、浜松市、清水町の3か所に設置。献血車は、献血ルームが近隣にない地域に出張し献血を受け付ける。



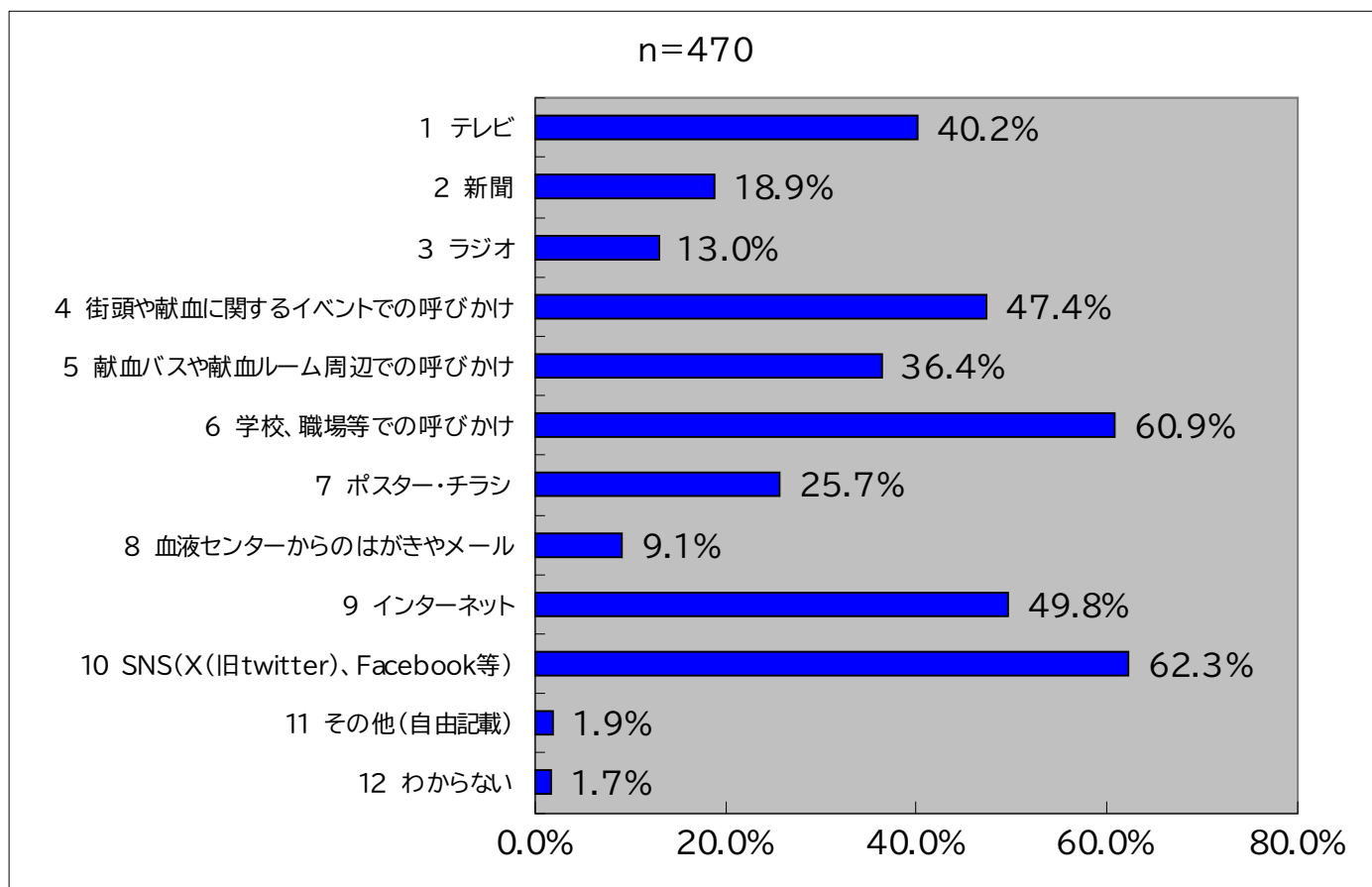
問2 献血に関する広報について、見たこと(聞いたこと)があるものをすべて挙げてください。(複数回答可)



問3 献血に関する広報について、学生等(高校生、大学生、専門学校生)に対して効果があると思うものをすべて挙げてください。(複数回答可)



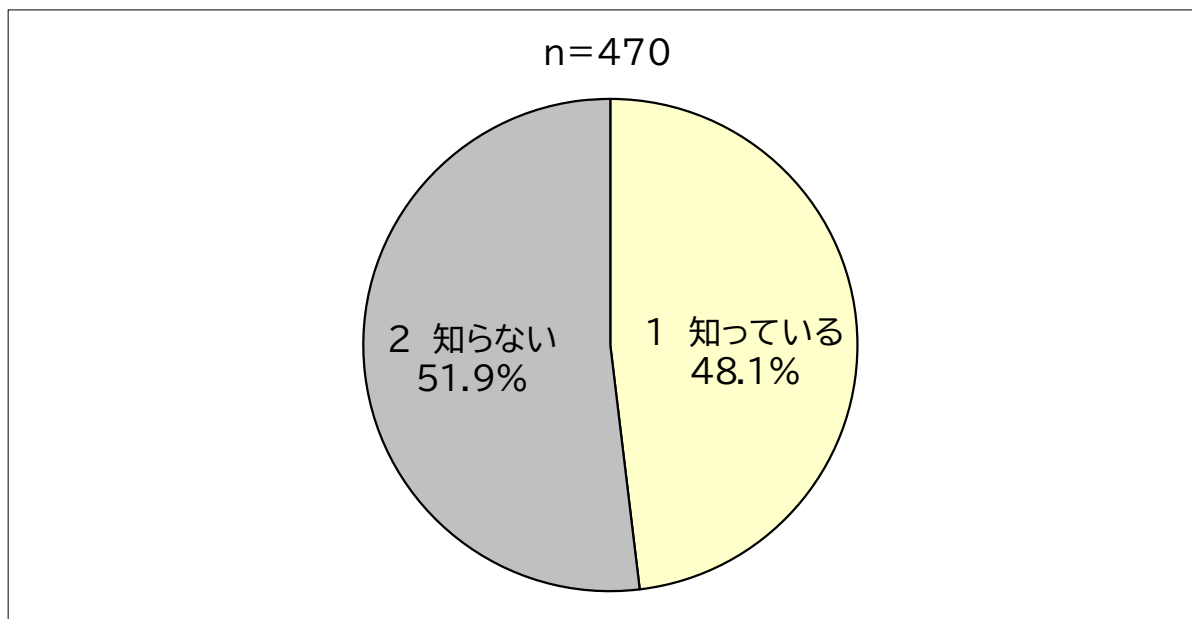
問4 献血に関する広報について、20歳代～40歳代に対して効果があると思うものをすべて挙げてください。(複数回答可)



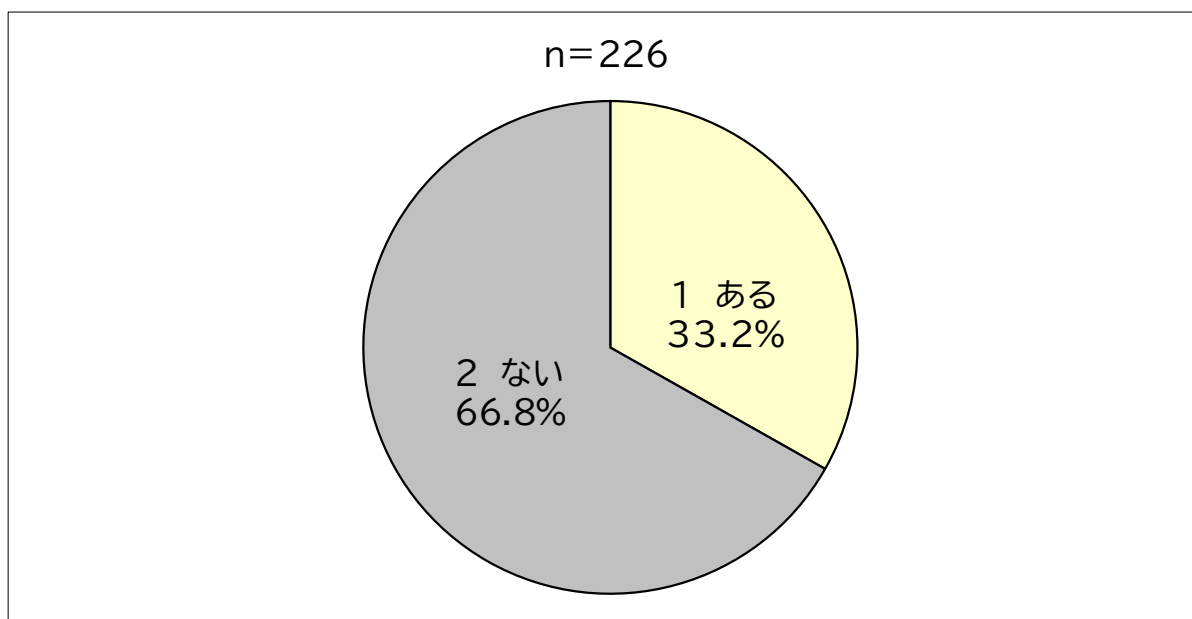
担当課 静岡県健康福祉部生活衛生局薬事課
TEL 054-221-2411
FAX 054-221-2199
メール yakuji@pref.shizuoka.lg.jp

○救急医療に関するアンケート

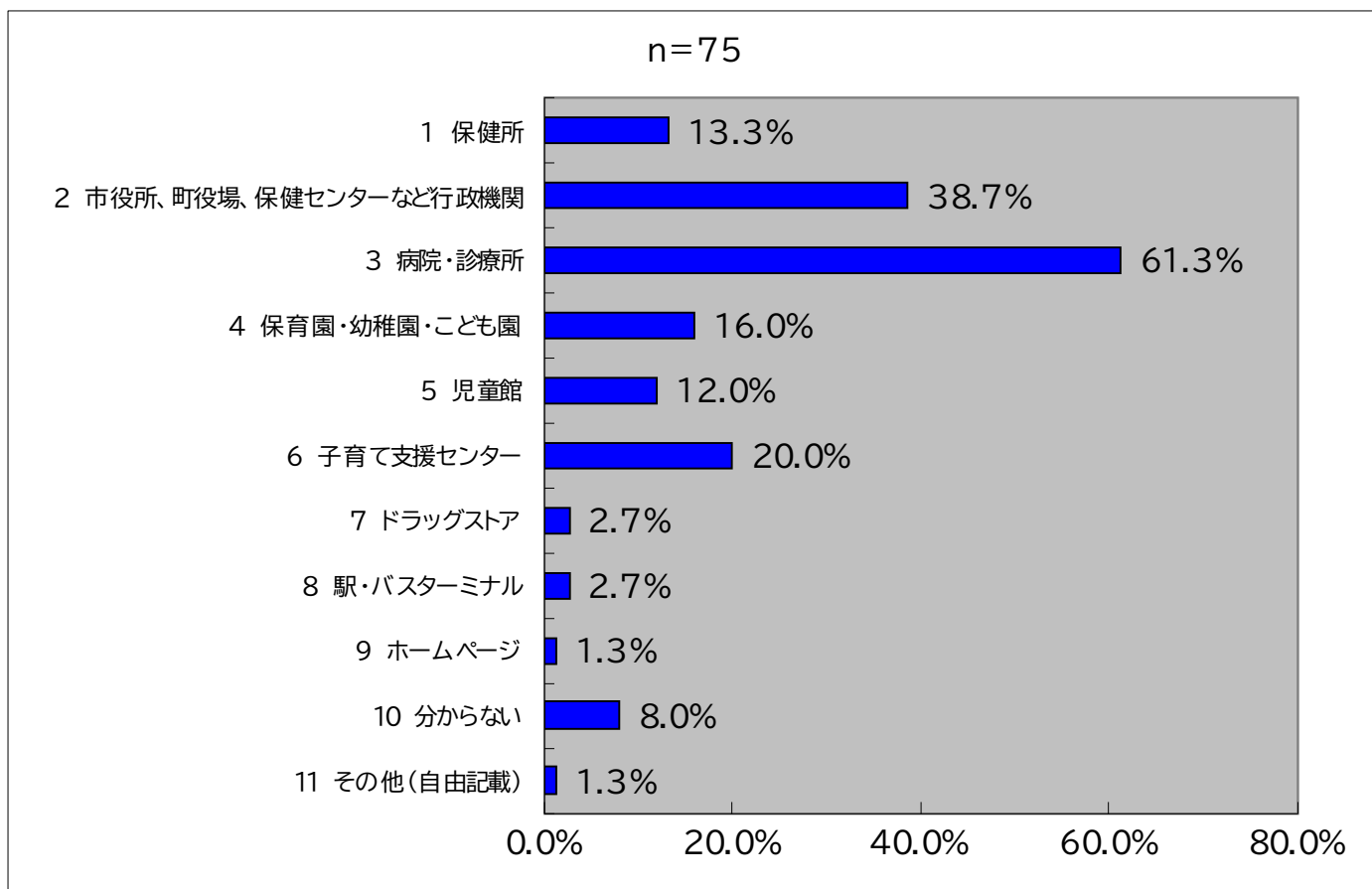
問1 静岡県には、お子様(中学生まで)が、急に具合が悪くなったとき、どのように対応したらよいか電話で相談できる「静岡子ども救急電話相談(#8000)」がありますが、あなたは知っていますか。(回答数は1つ)



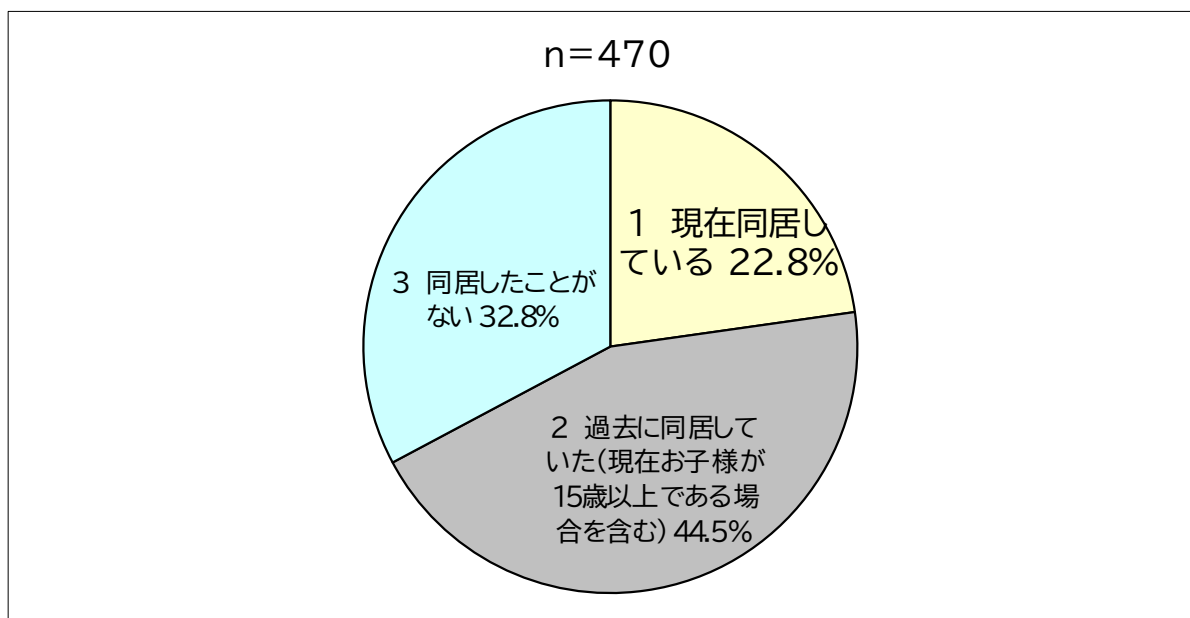
問1-2 問1で選択肢1を選択された方に伺います。県では、「それいけ！アンパンマン」を使用した「静岡子ども救急電話相談(#8000)」のポスターやチラシなどを作成していますが、あなたは御覧になったことがありますか。(回答数は1つ)



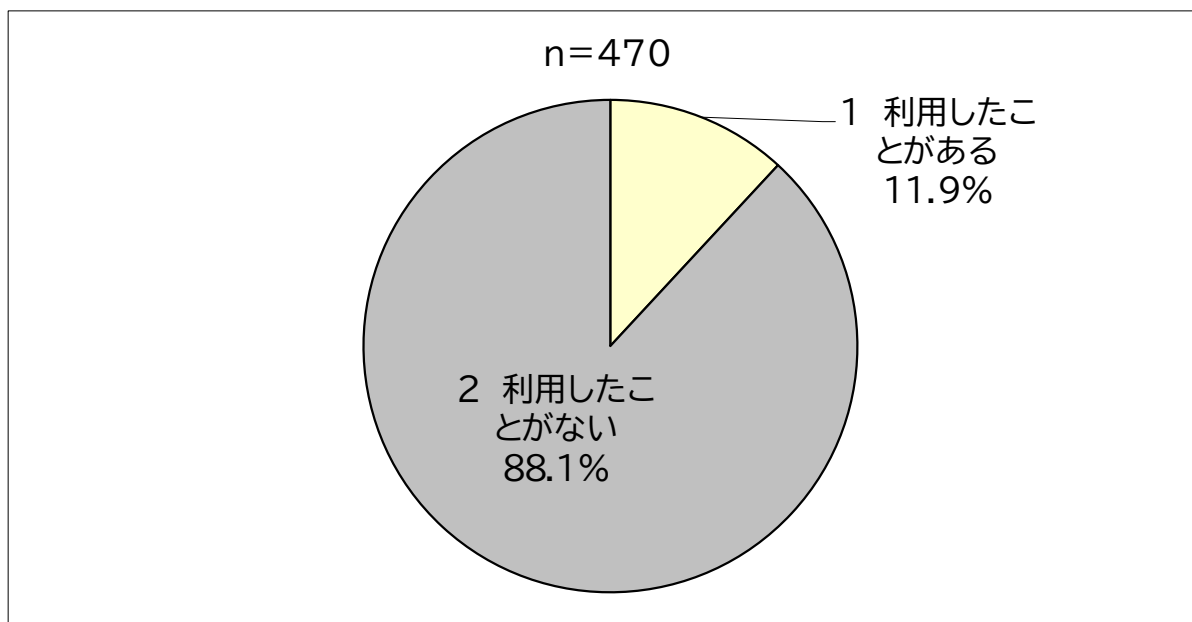
問1-3 問1-2で選択肢1を選択された方に伺います。あなたは、「それいけ！アンパンマン」を使用した「静岡子ども救急電話相談(#8000)」のポスターやチラシをどこで御覧になりましたか。(複数回答可)



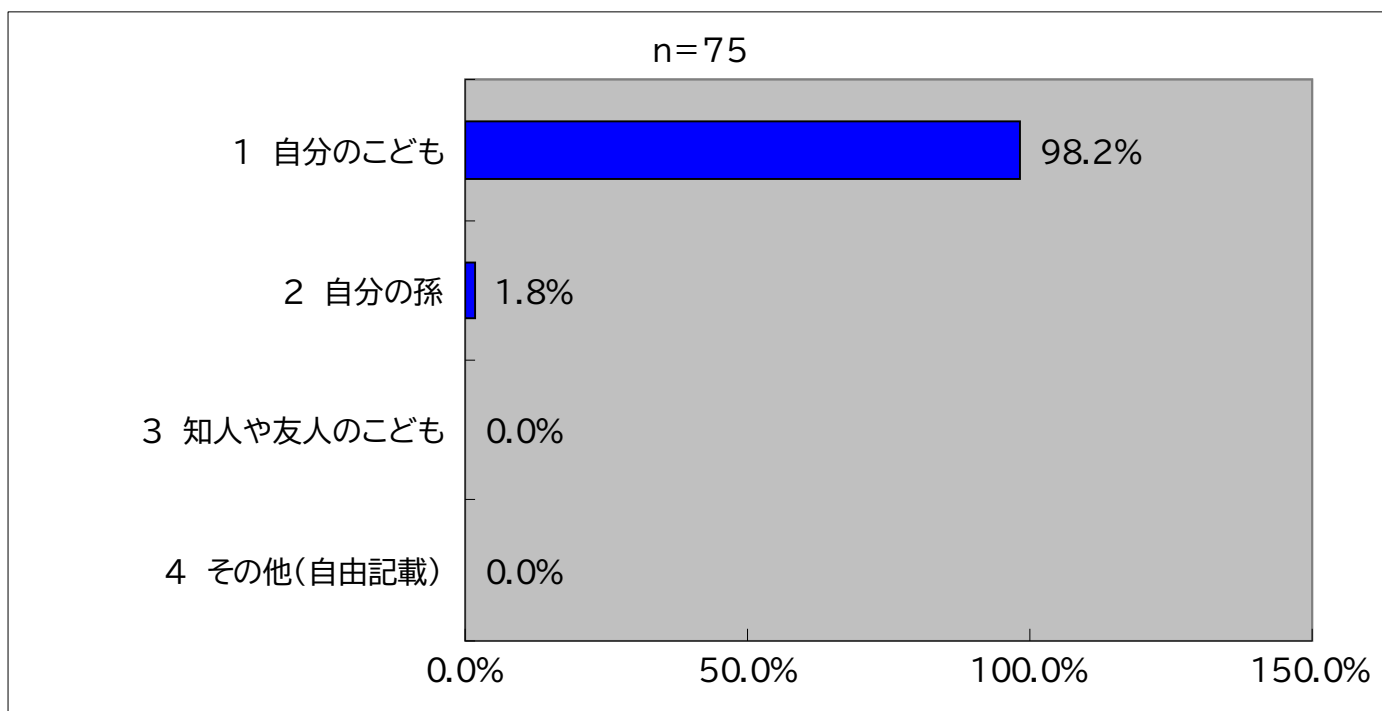
問2 「静岡子ども救急電話相談(#8000)」はおおむね 15 歳未満のお子様の保護者が相談対象となります。あなたは、15 歳未満のお子様(自分の子ども又は孫)と同居したことがありますか。(回答数は1つ)



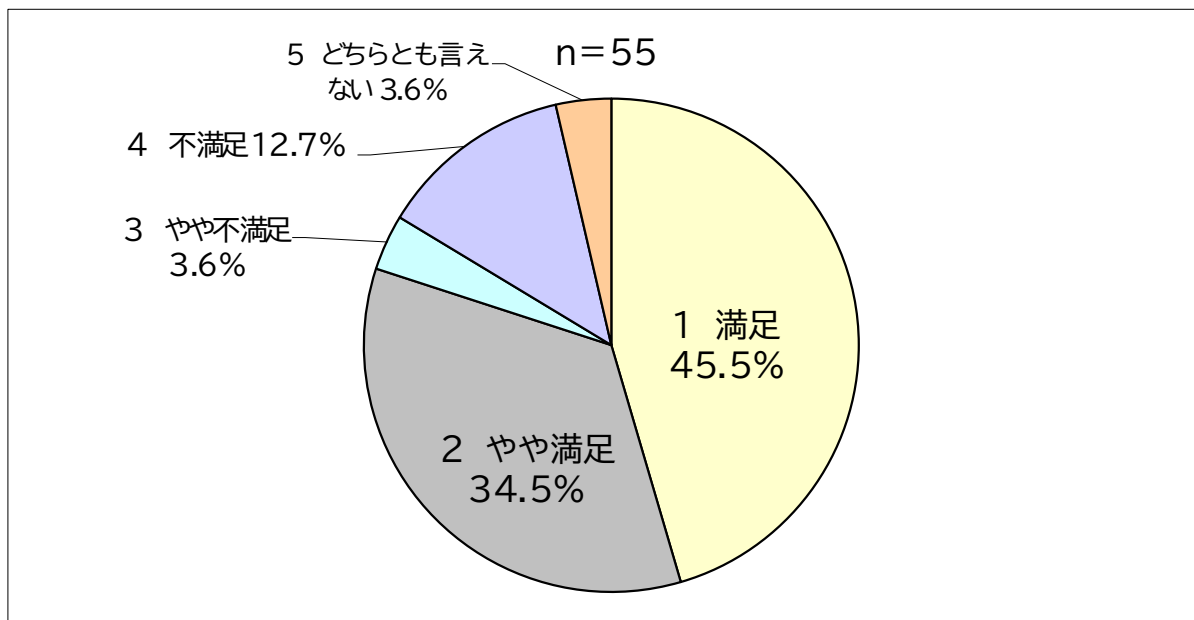
問3 あなたは、「静岡子ども救急電話相談(#8000)」を利用したことがありますか。(回答数は1つ)



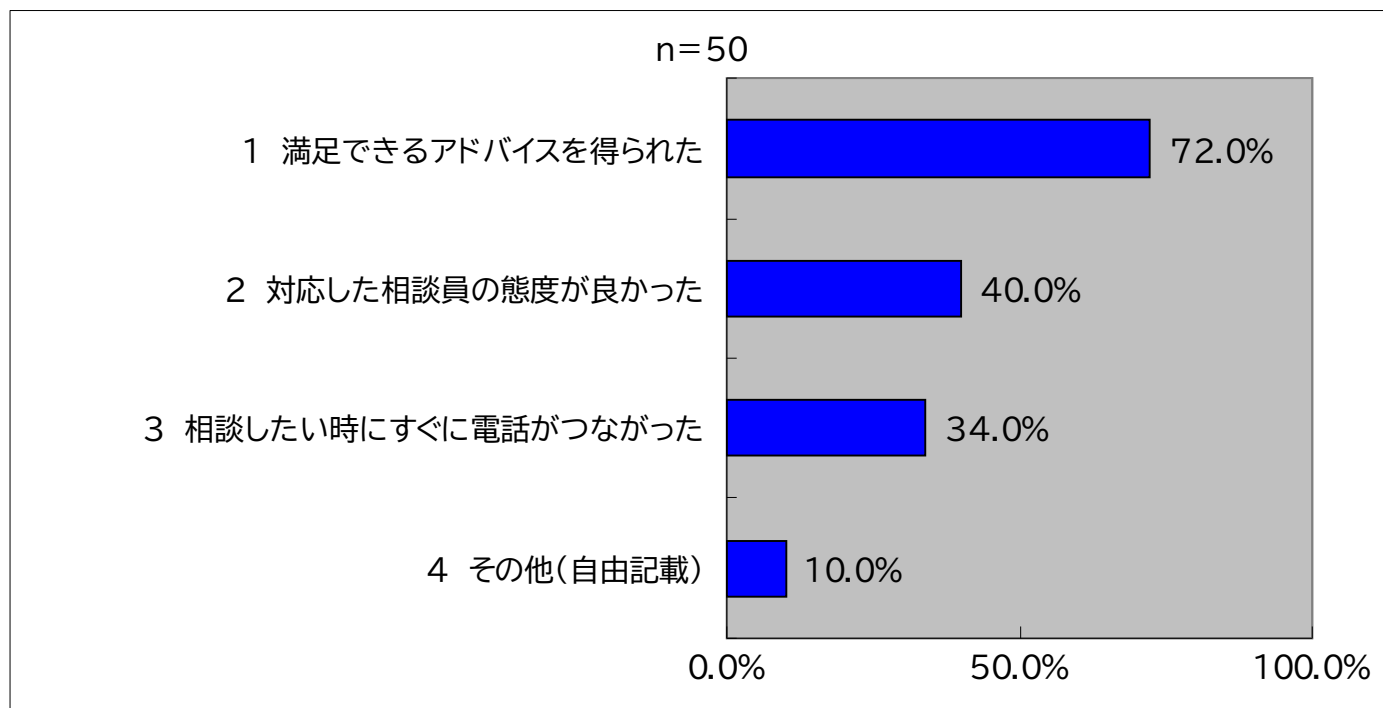
問3-2 問3で選択肢1を選択された方に伺います。どなたの具合が悪くなったときに御利用されましたか。(複数回答可)



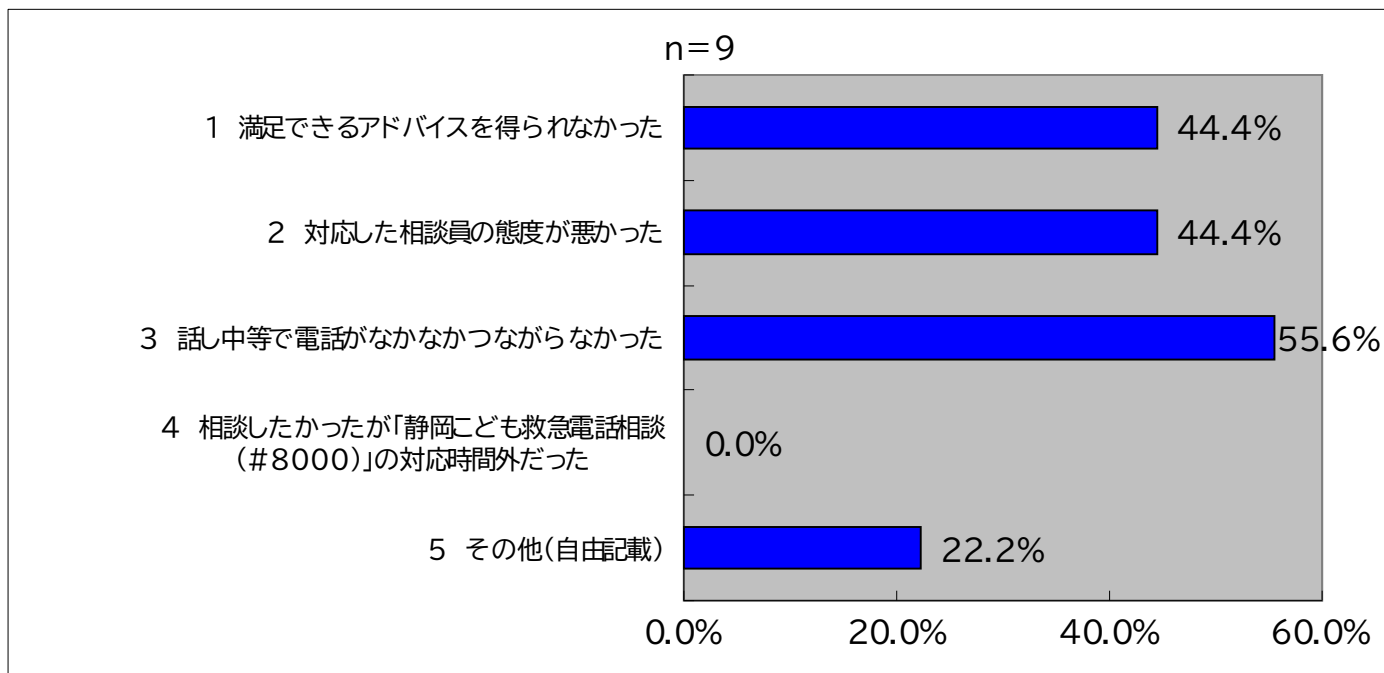
問3-3 問3-2で選択肢1を選択された方に伺います。「静岡子ども救急電話相談(#8000)」の助言等には、御満足いただけましたか。(回答数は1つ)



問3-3-2 問3-3で選択肢1または2を選択された方に伺います。「静岡子ども救急電話相談(#8000)」のどのような点について満足だと感じましたか。(複数回答可)

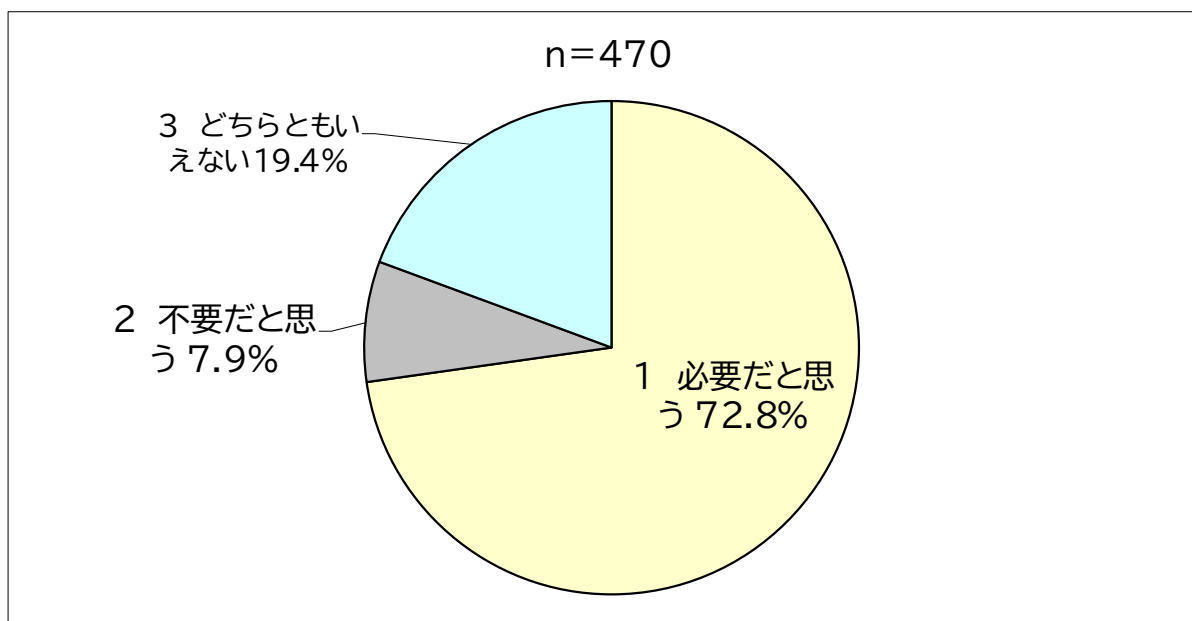


問3-3-3 問3-3で選択肢3または4を選択された方に伺います。「静岡子ども救急電話相談（#8000）」のどのような点について不満足だと感じましたか。（複数回答可）

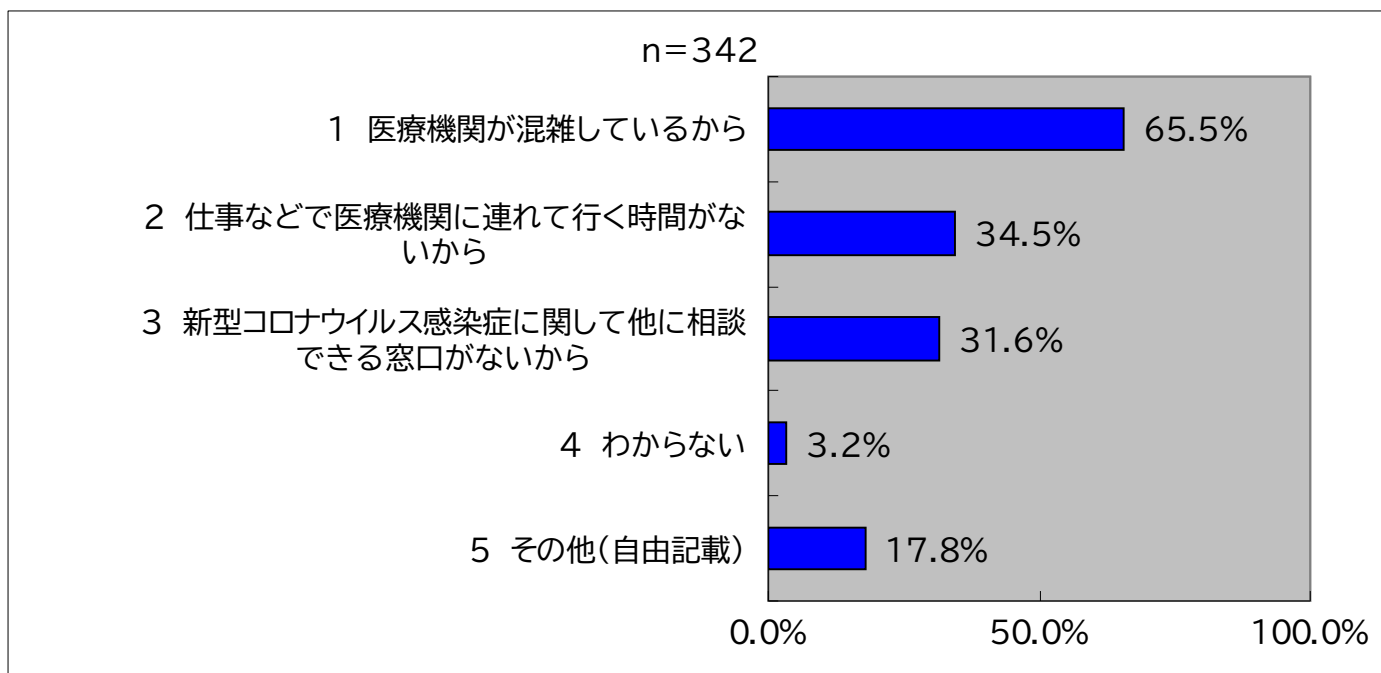


問4 静岡子ども救急電話相談（#8000）」の相談時間は、夜間・休日のみ（平日：18時～翌8時、土：13時～翌8時、日祝：8時～翌8時）でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大への対応のため、令和4年8月から、相談時間を、医療機関の診療時間内（平日：8時～18時、土：8時～13時）も含む毎日24時間に拡充し、令和6年度も24時間体制を継続しています。

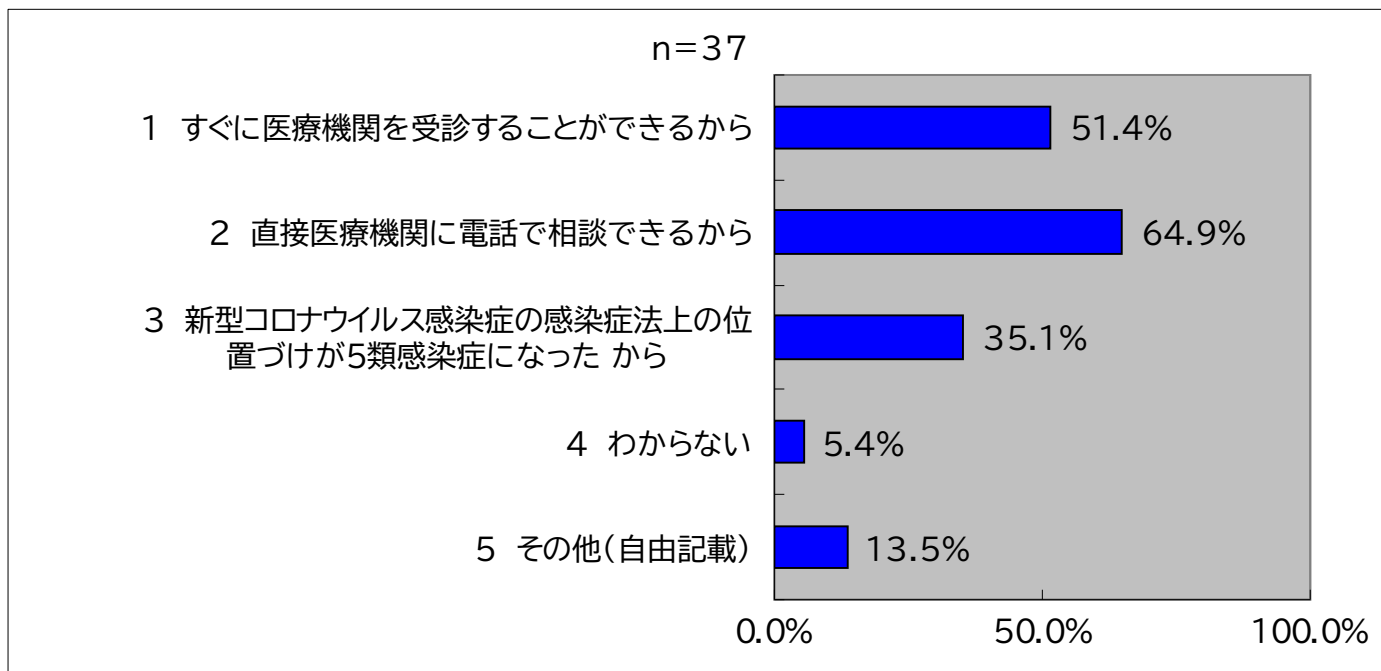
あなたは、今後も医療機関の診療時間内にも、「静岡子ども救急電話相談（#8000）」を利用できる必要があると思いますか。（回答数は1つ）



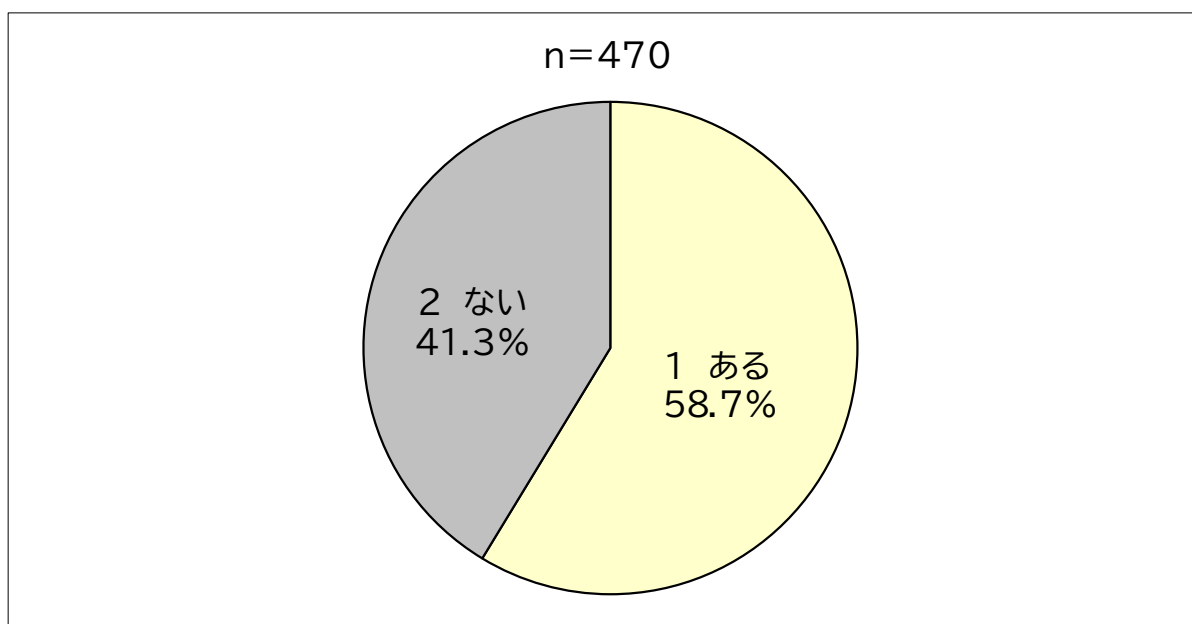
問4-2 問4で選択肢1を選択された方に伺います。必要だと思う理由を教えてください。(複数回答可)



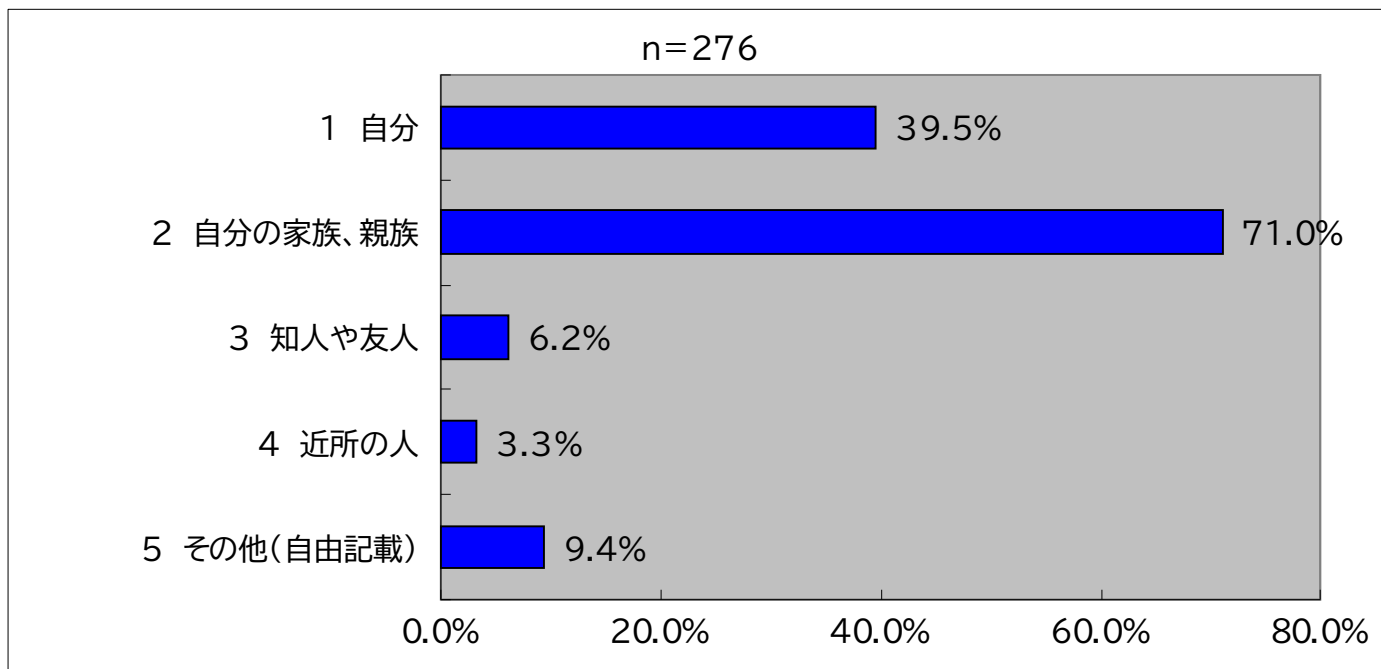
問4-3 問4で選択肢2を選択された方に伺います。不要だと思う理由を教えてください。(複数回答可)



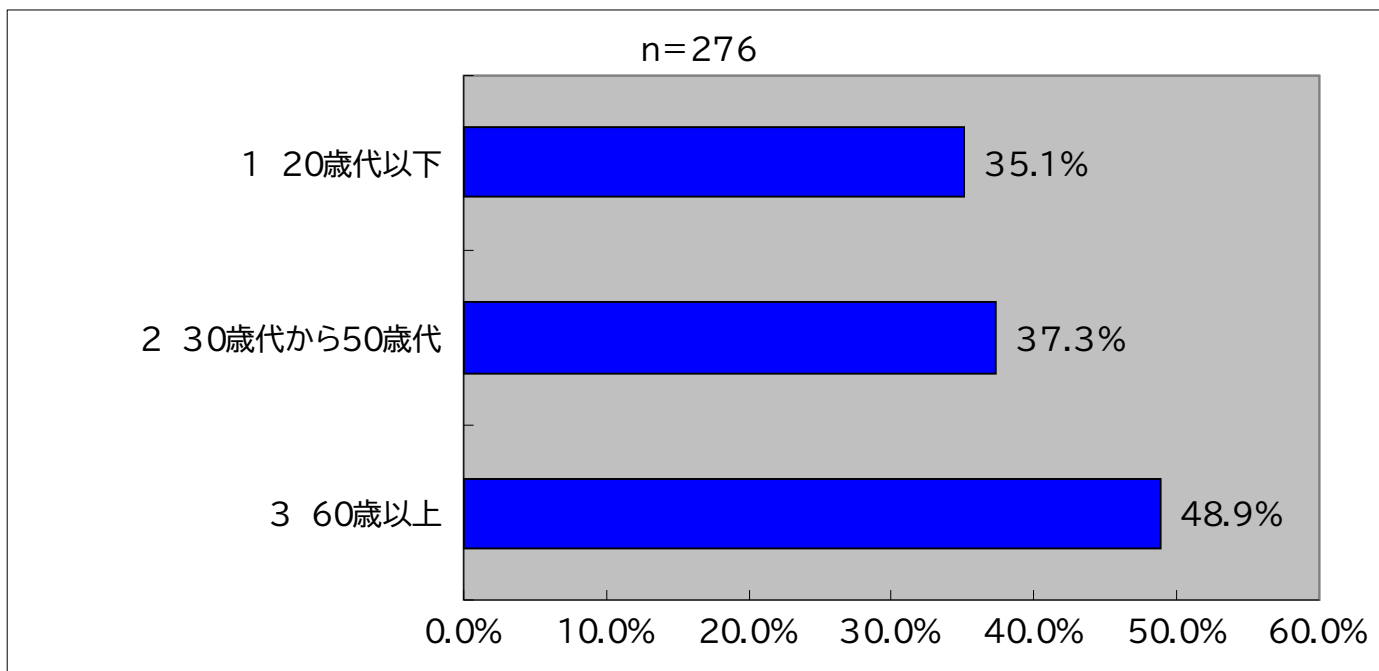
問5 あなたは、救急車を呼んだことや、呼んでもらったことはありますか。(回答数は1つ)



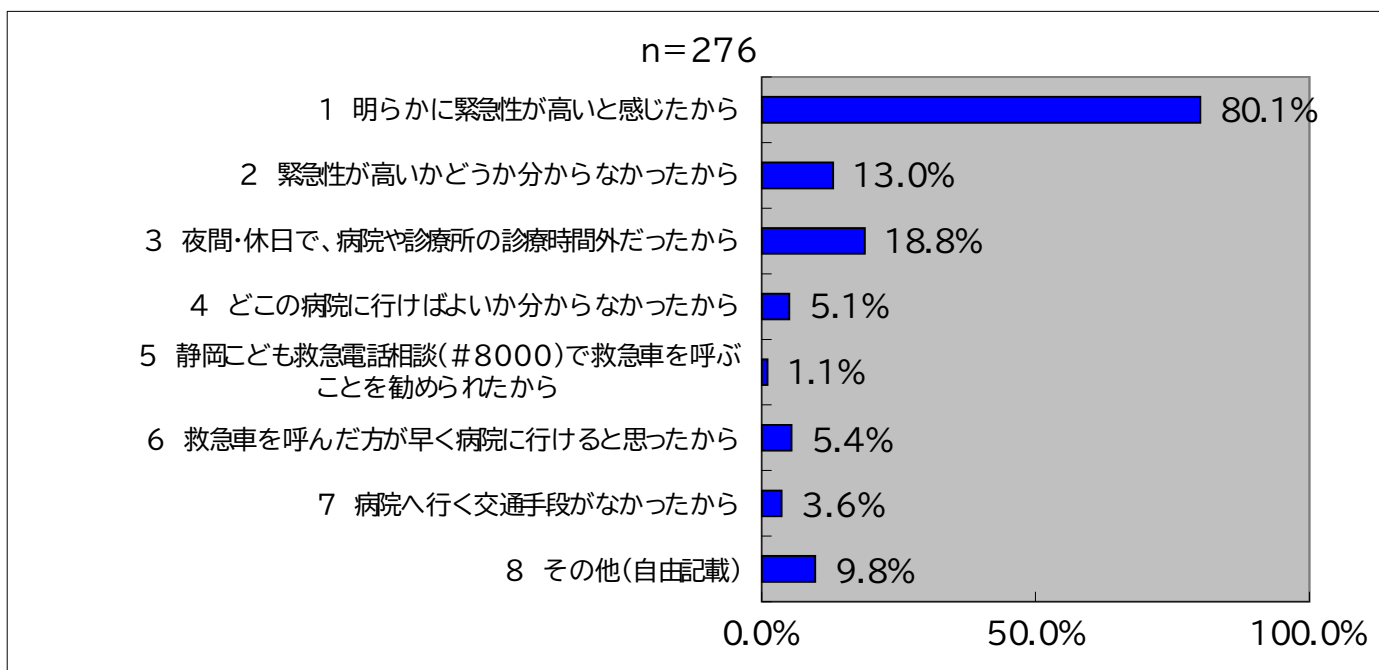
問5-2 問5で選択肢1を選択された方に伺います。どなたの具合が悪くなったときに御利用されましたか。(複数回答可)



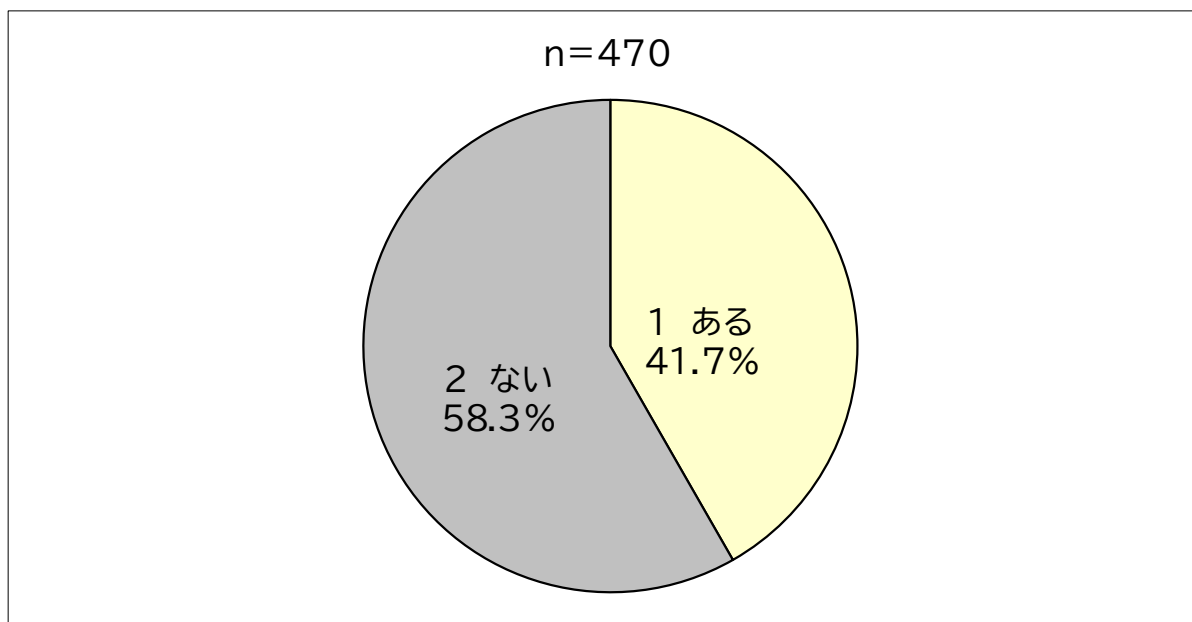
問5-3 問5で選択肢1を選択された方に伺います。救急車を利用された方の年齢を教えてください。
 (複数回答可)



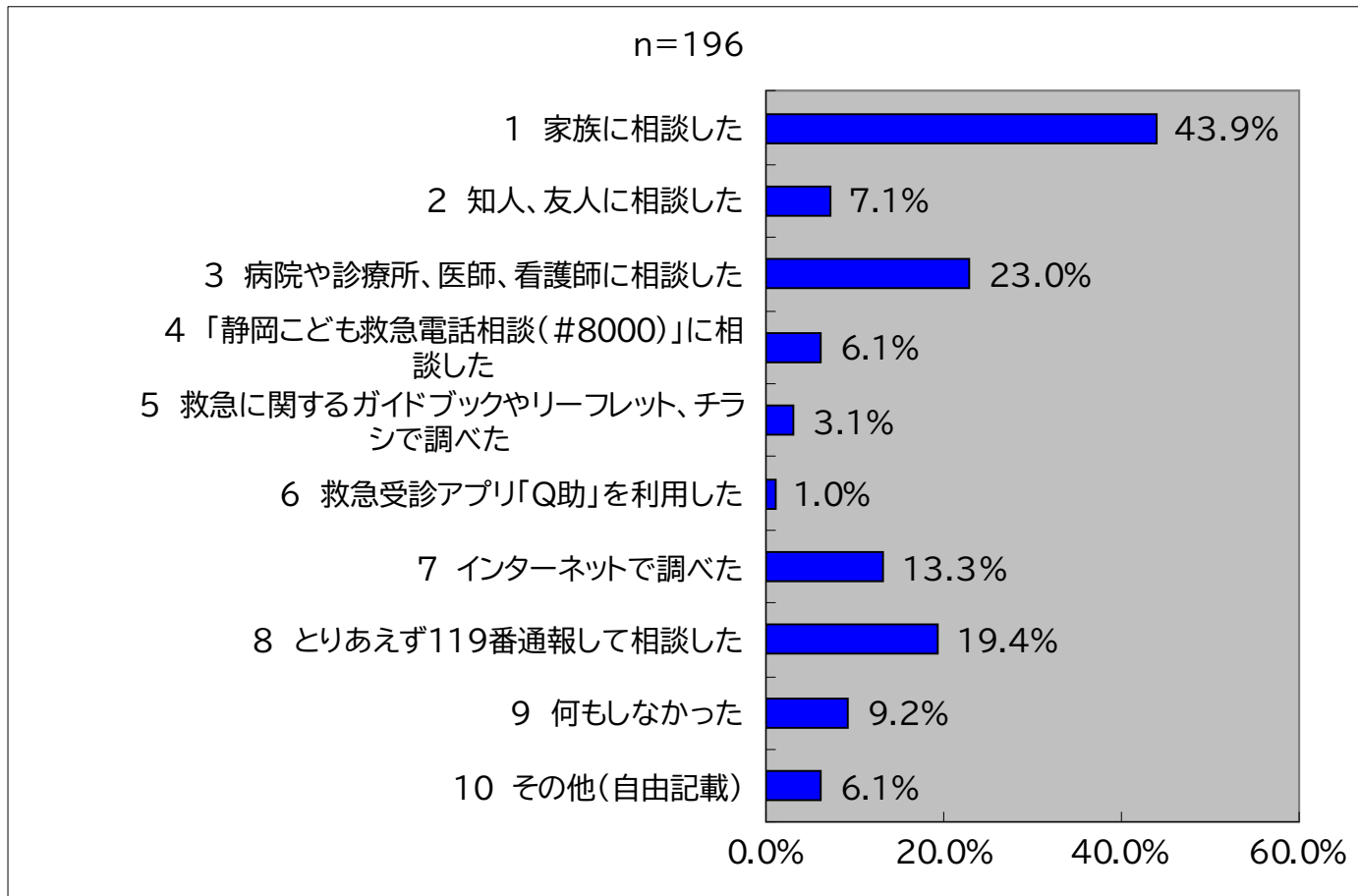
問5-4 問5で選択肢1を選択された方に伺います。救急車を呼んだり、呼んでもらったりした理由は何ですか。(複数回答可)



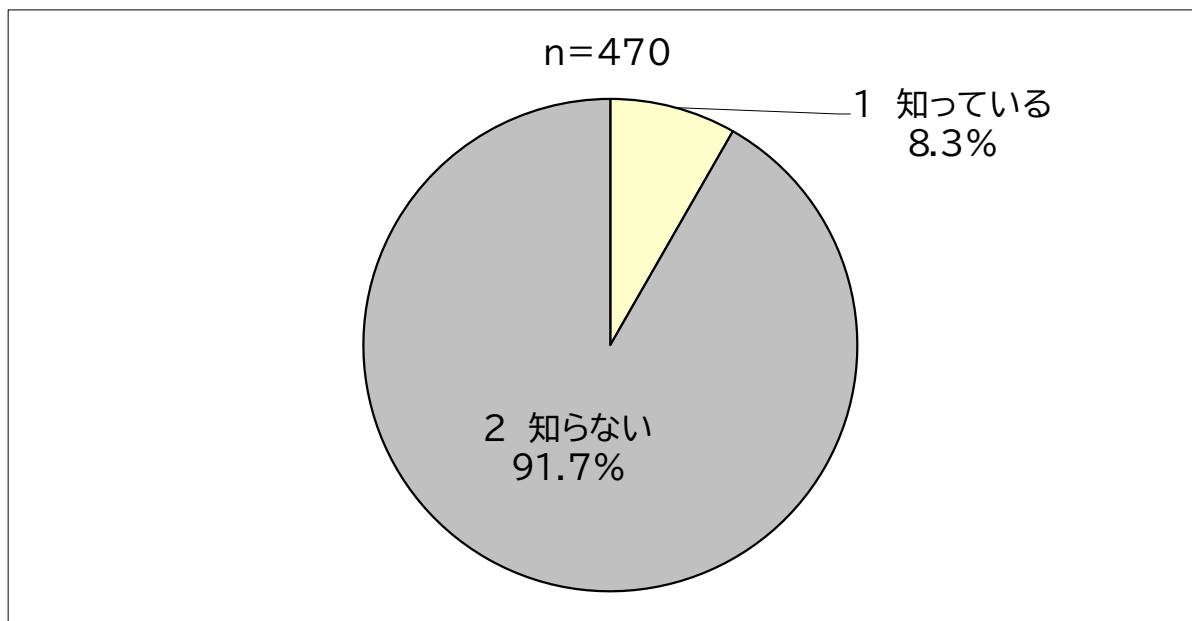
問6 あなたは、救急車を呼ぶべきかどうか判断に迷ったことはありますか。(回答数は1つ)



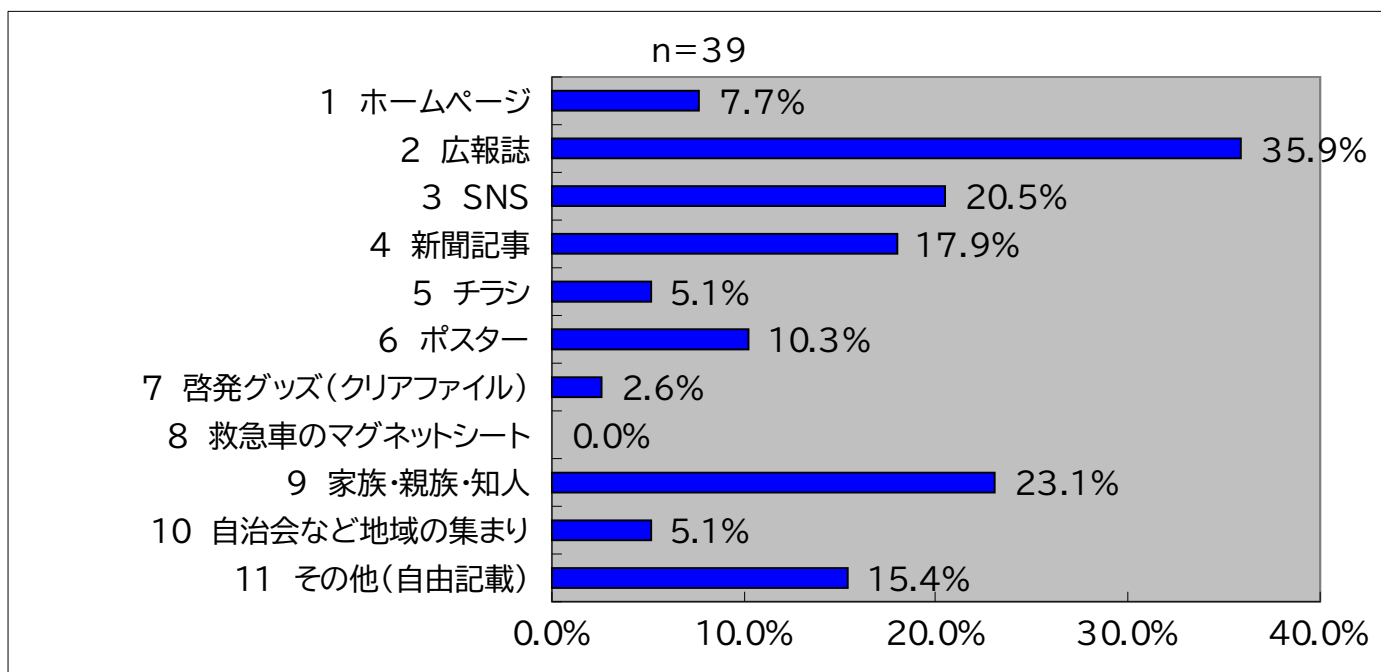
問6-2 問6で選択肢1を選択された方に伺います。救急車を呼ぶべきかどうか迷ったとき、あなたはどのようにしましたか。(複数回答可)



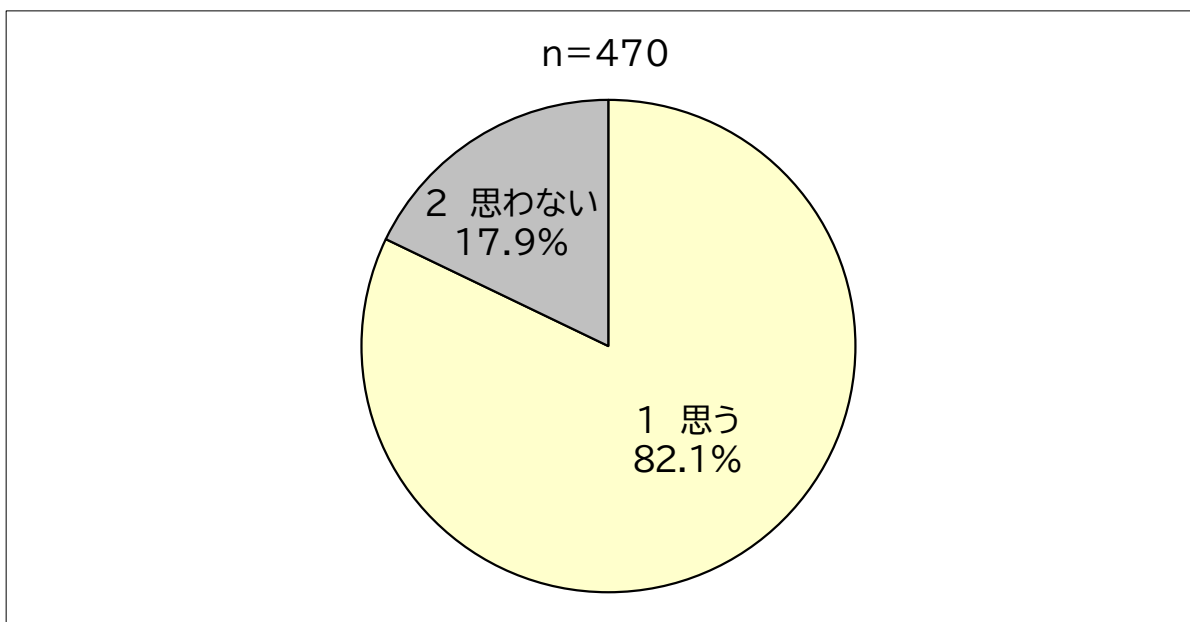
問7 静岡県では、おおむね 15 歳以上の方が、急な病気やけがをしたとき、どのように対応したらよいか電話で相談できる「救急安心電話相談窓口（#7119）」の運用を 10 月1日から始めますが、あなたは知っていますか。（回答数は1つ）



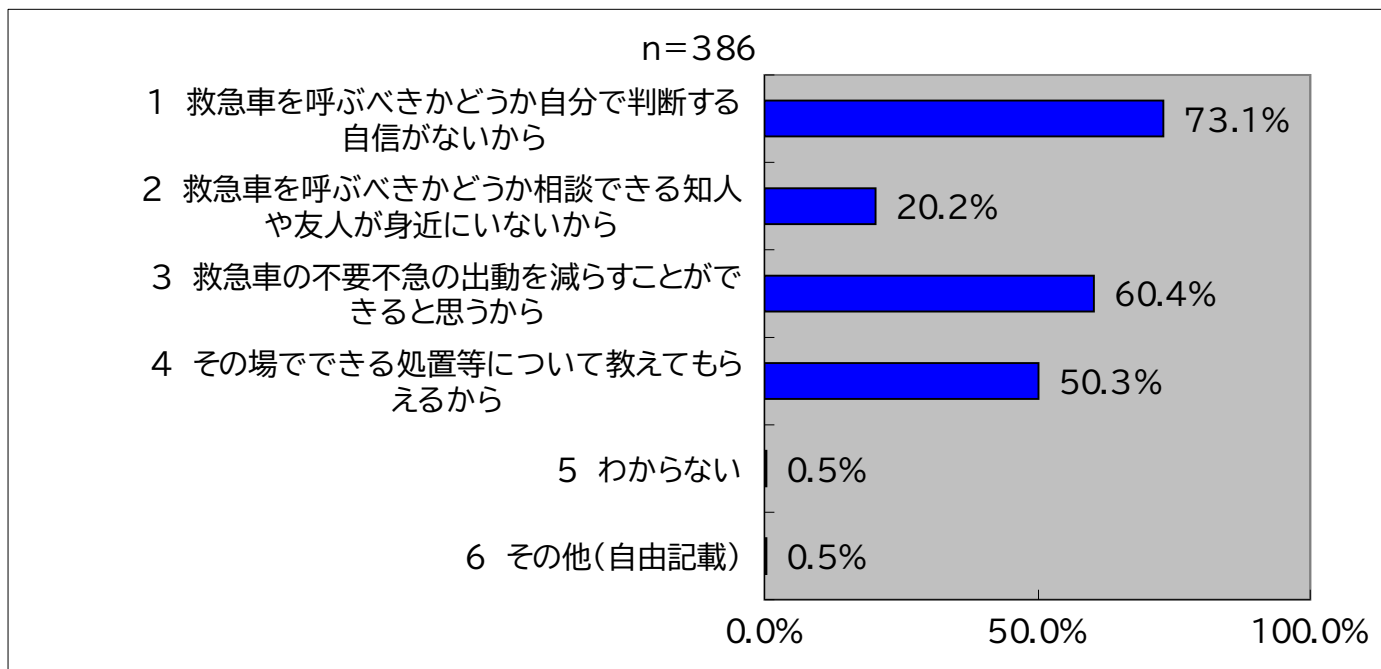
問7-2 問7で選択肢1を選択された方に伺います。「救急安心電話相談窓口（#7119）」について、あなたは何を通じて知りましたか。（複数回答可）



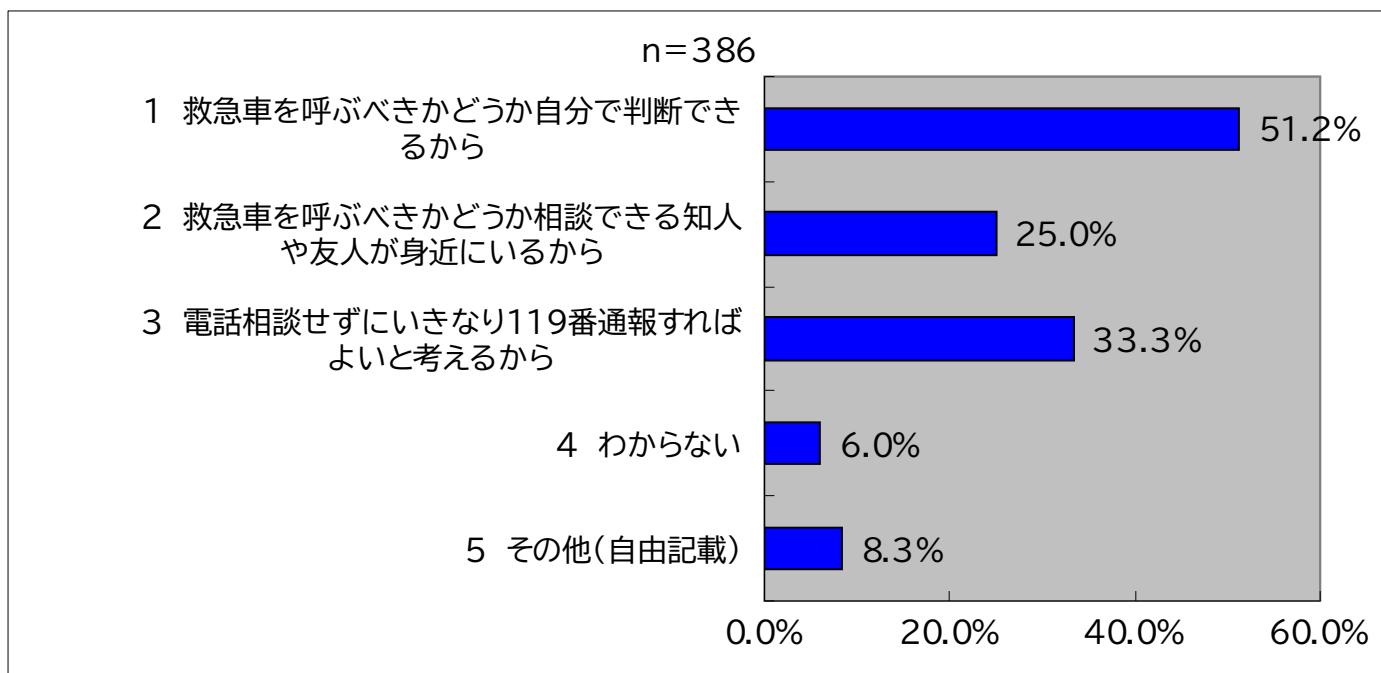
問8 あなたは、「救急安心電話相談窓口(#7119)」を利用したいと思いますか。(回答数は1つ)



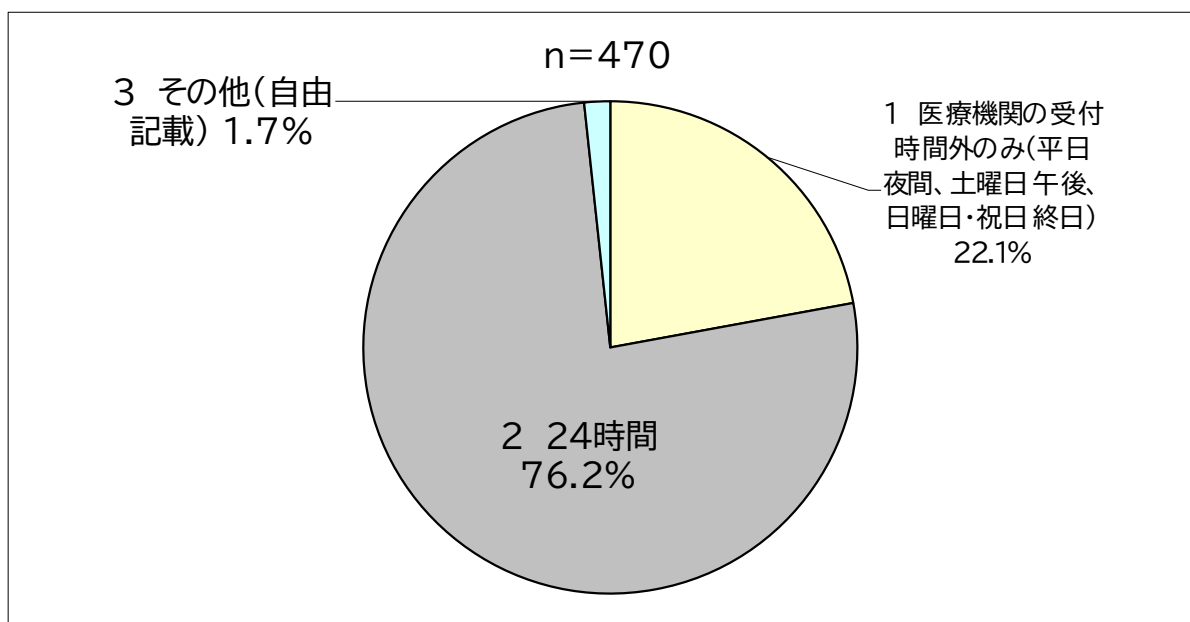
問8-2 問8で選択肢1を選択された方に伺います。利用したいと思う理由を教えてください。(複数回答可)



問8-3 問8で選択肢2を選択された方に伺います。利用したいと思わない理由を教えてください。(複数回答可)



問9 「救急安心電話相談窓口(#7119)」の相談受付時間はいずれが適当だと思いますか。(回答数は1つ)



担当課 健康福祉部医療局地域医療課
 電話番号 054-221-2406
 FAX 054-251-7188
 メール chiikiiryu@pref.shizuoka.lg.jp